

年 報 第 51 号
(令和 5 年度)

一般財団法人 みどり健康管理センター

ご あ い さ つ

今回の年報から、昭和レトロな表紙はそのままに、内容は大幅に変更いたしました。昨年度1年間の受診者の動向や検査結果の分布などを男女別や年齢別に細かく分類し、グラフ化するなどして傾向を示しています。

主な検査において、よく見られる異常の有所見率も提示しています。例えば、胸部レントゲンでは大動脈の蛇行や炎症の癍痕などの軽度な異常は約10%の人に認められ、胃のポリープは、胃部レントゲンでは33%、上部消化管内視鏡では約43%、胆のうポリープは腹部エコーで約9%の人に認められている事がわかりました。データは多いのですが参考になれば幸いです。

前年の第50号に記載したように今回から健診システムを一新したことにより、基準値なども変更しました。判定基準が新しくなり、今までより厳しく判定されたり、あるいは緩く判定されたりと変更されることがあります。

また、今までの判定区分は「要精密検査」と「要治療」を区別していましたが、検査のみで経過観察でよいのか、治療が必要となっているのかは受診先の医療機関の判断に従いますので、「要受診」に判定区分を統合しております。

年齢が高くなるほど「D判定」（要受診）や「E判定」（治療中）の割合が増えていきますが、異常を早期発見にし、判定が悪化しないよう生活習慣を見直す一助にしていただければ幸いです。

生活習慣病の予防のため、特定健診や特定保健指導にも注力していきたいと考え、今回から特定健診、特定保健指導の人数も示します。昨年度は特定健診受診者は8,510人、特定保健指導は動機付け支援123人、積極的支援99人に行い、ほぼ全ての人が支援完了しております。今後、更なる支援者数の増加を目指します。

骨密度検査はレントゲンを使った測定法（DEXA法）に変更するなど検査の充実を図っています。

前年の年報でお知らせしたように、健診システムのみならず、健診の手順の変更も行い、以前よりさらに早く約2時間程度で結果の説明まで終了できるようになり、約3ヶ月間実施したアンケートでも高評価をいただきました。

このため昨年の年間受診者数は17,223人（うち人間ドックは8,838人）となり、一昨年の年間受診者数16,908人（うち人間ドックは8,870人）と比較しても人間ドックの人数は微減となりましたが、総受診者数は増加しました。

2023年4月から2024年3月までの1年間に発見されたがんは34例（大腸がん9例、胃がん4例、食道がん0例、乳がん11例、前立腺がん3例、肺がん2例、その他5例）で、受診者全体の約0.2%の方にがんが発見されており、昨年の38例とほぼ同じ程度でした。

なお、最近の傾向は、胃がん、肺がんの症例が減少し、大腸、前立腺のがんの割合が増加してきています。また、女性受診者数の増加と比例して乳がん検診による乳がん発見も増えております。

今年度より、新しく上部消化管内視鏡室も追加設置し、一日の上部消化管内視鏡の検査件数を増やすことで、さらなる胃がんの早期発見に努めています。

長く続いたコロナウィルスの流行は第10波、第11波があるものの、コロナウィルスは弱毒化していると思われ、高齢者や基礎疾患を持つ方には注意を払いつつも、社会は落ち着いてきています。

個性的なバリのオリンピック、パラリンピックも無事に終了し、出場するための予選も含め選手たちの努力、活躍には感動いたしました。大谷翔平選手のようなアスリートのみならず、真田広之氏やそのほか若い歌手たちなど多くの日本人が世界で活躍するようになってきており今後も楽しみです。

一方、正月に能登半島で地震が発生、夏には急激な円安が進行、これに伴い物価は上昇し、また、温暖化のためか自然災害も毎年のように発生しています。世界各地の戦争、紛争は収まらず、ますます不安定な世界になってきており、今後も健康を維持する必要性がますます高まっていると思われます。

来年はいよいよ大阪で国際万国博が開催されます。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン～いのちの輝きプロジェクト～」です。医療分野においてもICT、VRやAIなどを利用した、遠隔受診や画像診断、ロボット支援手術などの治療の進歩が見られるようになりました。当施設も今後AIなどの利用も検討しつつ、一方で、各職員の能力、接遇などの向上を通して、受診者様の健康維持に寄与していく所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

令和6年11月

一般財団法人 みどり健康管理センター
所 長 古 林 孝 保

暦年の活動記録

年度(西暦)	年度(和暦)	主な出来事	年度受診者数	累計受診者数
1972年	昭和47年	法人設立(1972年2月17日)。 初代理事長 渡邊忠雄 就任。 初代所長 上田幸夫 就任 健診業務開始(1972年7月3日)	8,343	8,343
1974年	昭和49年	自己採取による子宮がん検査(細胞診検査)を開始 年報創刊号発刊 午後の健診を開始 日本自動化健診学会(現、日本総合健診医学会)優良総合健診施設認定	10,005	18,348
1977年	昭和52年	第2代所長 宮川定吉 就任	15,908	62,853
1978年	昭和53年	肥満、糖尿病、高脂血症、高血圧の受診者を対象に栄養指導を開始 第1回近畿地区AMHTS懇話会を当センターが大会長として開催 (健診システム ˆautomated multiphasic health testing and services) システム問診に加えて人的補助問診の実施 γ-GTP、TG (中性脂肪)、ビリルビン、クレアチニン、ナトリウム、カリウム検査を追加	16,173	79,026
1980年	昭和55年	リウマチ因子(RA)、喀痰、尿細胞診検査他を追加	18,452	115,470
1981年	昭和56年	視力検査を追加	19,013	134,483
1982年	昭和57年	創業10周年 自動身長体重計コントロールユニットを開発 大腸がん検査(便潜血検査3日法)を追加 第11回日本自動化健診学会 (現、日本総合健診医学会)学術大会の大会長を担当(所長/宮川定吉) (於、大阪中之島 日本生命研修所)	19,569	154,052
1983年	昭和58年	システム問診の廃止と健康調査質問票の制定	19,854	173,906
1985年	昭和60年	第2代理事長 上枝一雄 就任	20,875	215,050
1986年	昭和61年	自動グリコヘモグロビン測定装置を導入 フローコントロールシステムを回転板式から液晶表示式に変更	21,378	236,428
1987年	昭和62年	第3代理事長 宮道大五 就任	21,586	258,014
1989年	平成元年	第3代所長 近藤慶一 就任 オフコン導入。IBM製AS/400導入 分散処理システムの導入を検討	20,928	299,950
1990年	平成2年	自動身長体重計、眼底カメラ、超音波診断装置、全自動血球計数装置、呼吸機能検査装置 自動聴力測定システム、読影用電動シャーカステン、血液生化学自動分析装置 眼圧計装置、超音波洗浄装置、胃部X線テレビ装置、尿自動分析装置、健診データシステム HB s 抗原測定システム、乾式臨床化学自動分析装置、医療廃棄物滅菌粉碎処理装置、等を導入 フローコントロールシステムと健診システム(AS/400)を更新	21,221	321,171
1991年	平成3年	1グループの収容人数を16名体制から20名体制まで増加。一日の最大収容能力を100名まで拡大 午後健診の成績表を当日出力し、午後健診でも結果説明を可能とする体制に変更 便潜血反応検査を3日法から2日法に変更	21,821	342,992

年度(西暦)	年度(和暦)	主な出来事	年度受診者数	累計受診者数
1992年	平成4年	創業20周年 7月1日に20周年記念事業として講演会と記念パーティーを実施(於、東洋ホテル) HbA1cの全員測定を実施 ウォーキング指導用トレッドミル・体脂肪計の設置	21,544	364,536
1994年	平成6年	骨密度検査を開始 阪神淡路大震災発生。1月17日の震災当日も通常業務を実施 第4代理事長 川勝堅二 就任	21,603	408,730
1995年	平成7年	オプション検査の取扱開始(腫瘍マーカー・骨密度測定他) 阪神淡路大震災の支援健康管理事業として、被災地区在住者無料健診実施(194名が利用)	21,052	429,782
1996年	平成8年	精密検査用ヘリカルCTを導入 空調改良工事第一期。暖房熱源を変更(電気・ガス式へ更新) 健診システムAS/400を更新(AS/400-200へ)	19,572	449,354
1997年	平成9年	空調改良工事第二期。冷房熱源を変更(電気式へ更新) 土曜日健診を開始。月に一回、第三土曜日に健診を実施	18,674	468,028
1998年	平成10年	第4代所長 廣瀬憲文 就任 成人病健診コース A・B・Cの3コースを新たに設定 ホームページの開設	17,862	485,890
2000年	平成12年	第2ロビーの改装。健診結果説明を待つホールでの軽食提供開始 第5代理事長 渡辺 滉 就任	16,071	518,986
2001年	平成13年	フローコントロールシステムの更新。総合健診 (人間ドック)と成人病健診の同時実施体制を構築 健診フロアー 2階を活用した定期健診の運営開始	17,033	536,019
2002年	平成14年	創業30周年 7月1日 記念事業の実施(受診者向け記念品の配布) 30周年記念事業として講演会と謝恩パーティーを実施(於、東洋ホテル) 2階健診ロビーの改装し、婦人科医師による子宮がん検査(内診検査)を実施 第6代理事長 室町鐘緒 就任	16,643	552,662
2004年	平成16年	乳腺エコー検査の実施 LDLコレステロール検査を必須扱いに変更 健康調査質問票をOMR方式(マークシート方式)で運用開始 健診システムAS/400を更新(AS/400-400へ)	16,927	586,137
2005年	平成17年	協会けんぽ(政府管掌)と契約 ふるかわクリニック(提携先)でマンモグラフィ検査を実施	17,437	603,574
2006年	平成18年	第5代所長 河野典夫 就任	18,630	622,204
2007年	平成19年	当センターにてマンモグラフィ検査を実施(GE製)	19,179	641,383
2008年	平成20年	特定健康診査の取扱い開始 16列ヘリカルCTの更新(東芝製)	19,590	660,973
2010年	平成22年	eGFR(計算値)を健診結果表に反映 オプション検査の追加⇒ピロリ抗体・ペプシノゲンを導入	19,094	699,113
2011年	平成23年	機密保護監査ツールを導入	18,780	717,893
2012年	平成24年	創業40周年 第6代所長 徳永勝人 就任 財団法人から一般財団法人法人格を変更 ホームページをリニューアル フローコントロールシステムのサーバー二重化を実施	17,875	735,768

年度(西暦)	年度(和暦)	主な出来事	年度受診者数	累計受診者数
2013年	平成25年	健診システムAS/400を更新(AS/400-Power720へ) 読影用電動シャーカステンに代わり医用画像情報システム(PACS)を導入	17,635	753,403
2014年	平成26年	入退室管理システムを導入 特定保健指導支援システムを導入 第36回関西総合健診医学懇話会（最終回）を当センターが世話人施設として開催 （於、大阪新阪急ホテル）	17,123	770,526
2015年	平成27年	第7代理事長 沖原隆宗 就任 ホームページのスマートフォンサイトを新たに開設 オプション検査の追加⇒HPV検査を導入	16,958	787,484
2016年	平成28年	自己採取による子宮がん検査（細胞診検査）を廃止し、婦人科医師による検査のみを実施	16,883	804,367
2017年	平成29年	16列ヘリカルCTの更新(東芝製) グループ運用の一部変更（6グループの健診開始時間を1グループの前に変更） オプション検査の追加⇒肺がんセット（胸部CT+CEA+CYFRA+ProGRP等）を導入 施設内全面禁煙を実施	17,037	821,404
2018年	平成30年	non-HDLコレステロール検査を必須扱いに変更 厚生労働省による特定健康診査の運用見直し 台風21号の上陸に備えて、創業以来初の臨時休業を決定	16,710	838,114
2019年	令和元年	TTT(膠質反応)検査の廃止 CPK(クレアチンフォスフォキナーゼ)検査の廃止 マンモグラフィ検査の土曜日実施を決定	16,825	854,939
2020年	令和2年	第7代所長 古林孝保 就任 医用画像情報システム(PACS)の更新 新型コロナウイルスの感染拡大による全国一斉の「緊急事態宣言」発出で約2ヶ月間の休業 健診システムAS/400を更新(AS/400-Power Systems914へ)	16,227	871,166
2021年	令和3年	2階の検体検査室に「総合臨床検査システムMELAS-i」を導入 喀痰細胞診検査の廃止 オプション検査の追加⇒腹部超音波検査をオプション検査として実施 オプション検査の追加⇒フェリチン検査を導入	16,751	887,917
2022年	令和4年	創業50周年 乳がん検査(マンモグラフィ検査、乳腺エコー検査)での乳房視触診を廃止 乳腺エコー検査を医師による検査から臨床検査技師による検査に変更 オプション検査の追加⇒内臓脂肪CT検査、NT-ProBNP検査を導入		
2023年	令和5年	アイテック阪急阪神の健診システム「TOHMAS-i」を導入し、健診運営を全面見直し (IHIBM社製 AS400シリーズでの健診運用を終了) ⇒グループ運用を廃止して、受付終了後に検査を開始する方式へと変更 各検査の基準値、判定区分、健康診断結果報告書等の資料、問診票等全て更新 オプション検査の新規追加 ⇒LOX-index（脳梗塞等の発症リスク検査）、Viewアレルギー39（39種類のアレルゲン検査）	17,223	905,140

— 目 次 —

1. 受診状況

2. 診断結果

3. 臓器別がん発見数・検査別所見の一覧

4. 精密検査・フォローアップ

5. 特定健診・特定保健指導

6. 参加学会・研究会

1

5

35

47

48

49

診断結果表などに示される表・グラフ内の「A」「B」「C」「D」「E」については以下を参照

【凡例】

■診断結果・機能別判定等

A	正常範囲
B	軽度の異常
C	生活習慣に注意するなどして、1年後の健診で再検査が必要
D	医療機関で再検査や精密検査、生活指導や治療を必要とする
E	現在治療中

■女性健診の場合は以下

（マンモグラフィ・乳腺エコー・子宮頸部細胞診）

A	異常なし
B	軽度異常
C	経過観察
D	要受診
E	現在治療中

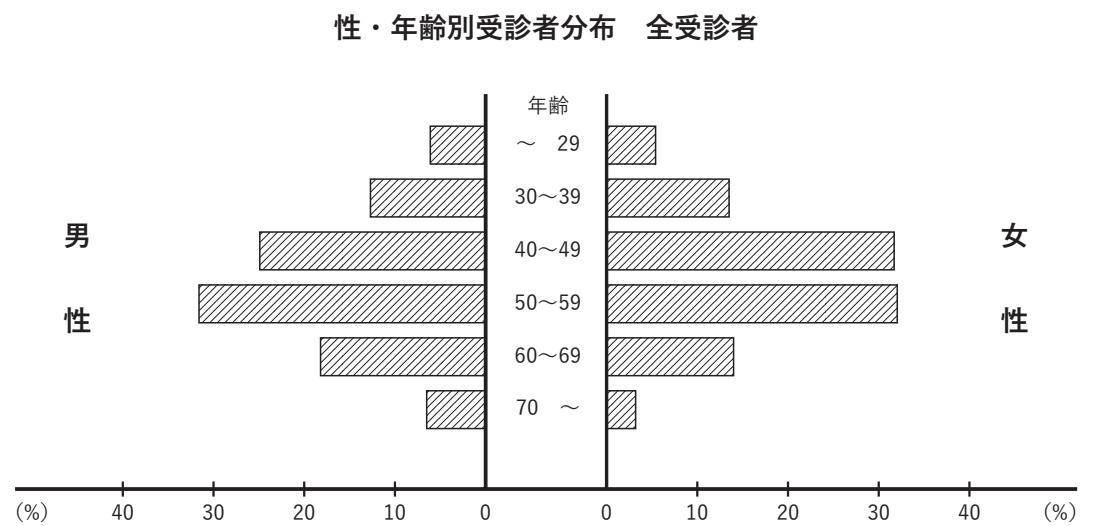
1. 受 診 状 況

(1) 受診者の動向

- 本年度の受診者総数は17,223人で前年度の16,908人より315人増加している。男性は9,506人、女性は3,977人であり、男性55%女性45%とはほぼ従来どおりの比率であった。年齢別構成は男女とも50才代が最も多く、次いで40才代の順になっている。
- 人間ドック受診者総数は8,838人で前年度8,870人とほぼ同数であった。男性は4,861人、女性は7,717人であり、人間ドックの男女比率も男性55%女性45%と全受診者と同様の比率であった。年齢別構成では男性は50才代が最も多く、次いで40才代、女性は40才代が最も多く、ついで50才代の順になっている。

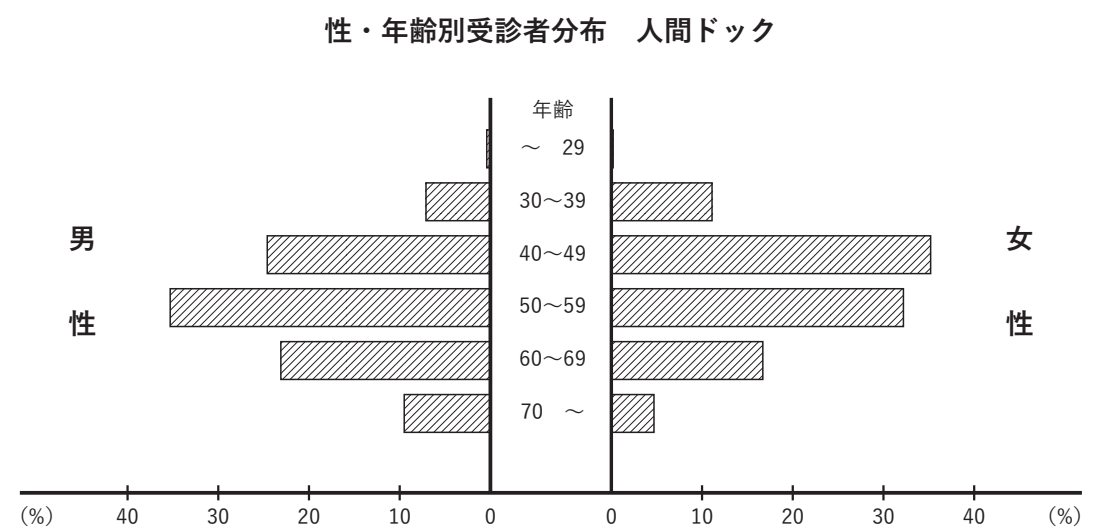
全受診者

年齢 \ 性	男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～ 29	583	6.1%	420	5.4%	1,003	5.8%
30～39	1,209	12.7%	1,044	13.5%	2,253	13.1%
40～49	2,363	24.9%	2,449	31.7%	4,812	28.0%
50～59	3,005	31.6%	2,473	32.0%	5,478	31.8%
60～69	1,730	18.2%	1,083	14.0%	2,813	16.3%
70 ～	616	6.5%	248	3.2%	864	5.0%
合 計	9,506	100.0%	7,717	100.0%	17,223	100.0%



人間ドックのみ

年齢 \ 性	男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～ 29	18	0.4%	9	0.2%	27	0.3%
30～39	344	7.1%	441	11.0%	785	8.9%
40～49	1,196	24.6%	1,398	35.2%	2,594	29.4%
50～59	1,717	35.3%	1,279	32.2%	2,996	33.9%
60～69	1,124	23.1%	664	16.7%	1,788	20.2%
70 ～	462	9.5%	186	4.7%	648	7.3%
合 計	4,861	100.0%	3,977	100.0%	8,838	100%

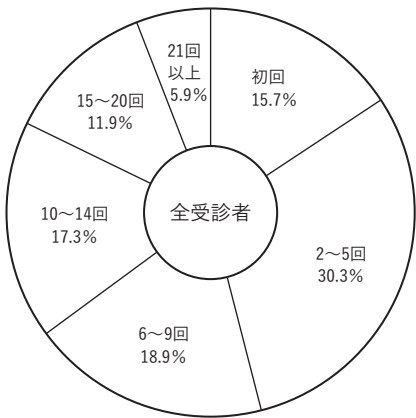


(2) 受診回数

- 受診回数は全体でも人間ドックのみの比率でも、例年どおり約9割が反復受診者である。

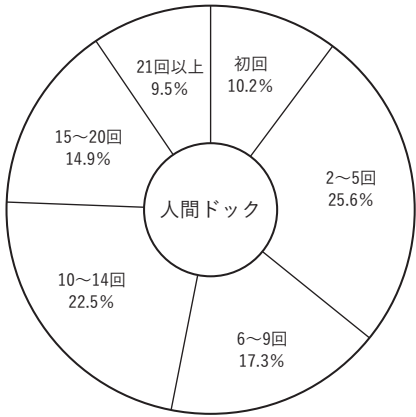
全受診者

受診回数	人数	割合
1(初回)	2,696	15.7%
2～5回	5,211	30.3%
6～9回	3,262	18.9%
10～14回	2,985	17.3%
15～20回	2,051	11.9%
21回以上	1,018	5.9%
合 計	17,223	100.0%



人間ドック

受診回数	人数	割合
1(初回)	898	10.2%
2～5回	2,260	25.6%
6～9回	1,529	17.3%
10～14回	1,990	22.5%
15～20回	1,318	14.9%
21回以上	843	9.5%
合 計	8,838	100%



過去のデータ（人間ドックのみ）

年号	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
反復受診率(%)	90.4	89.6	90.8	91	89.8

(3) 地域別

- 地域別にみた受診者数は、全受診者の72.7%、人間ドックでは66.0%と過半数が大阪府下を占め、次いで兵庫県、奈良県の順になっている。

全受診者

	人数	割合
大阪市内	2,498	14.5%
大阪市以外の大阪府下	10,024	58.2%
京都府	443	2.6%
兵庫県	1,898	11.0%
奈良県	502	2.9%
和歌山県	25	0.1%
その他	1,833	10.7%
合計	17,223	100%

人間ドックのみ

	人数	割合
大阪市内	1,254	14.2%
大阪市以外の大阪府下	4,579	51.8%
京都府	325	3.7%
兵庫県	1,336	15.1%
奈良県	386	4.4%
和歌山県	16	0.2%
その他	942	10.6%
合計	8,838	100.0%

2. 診 断 結 果

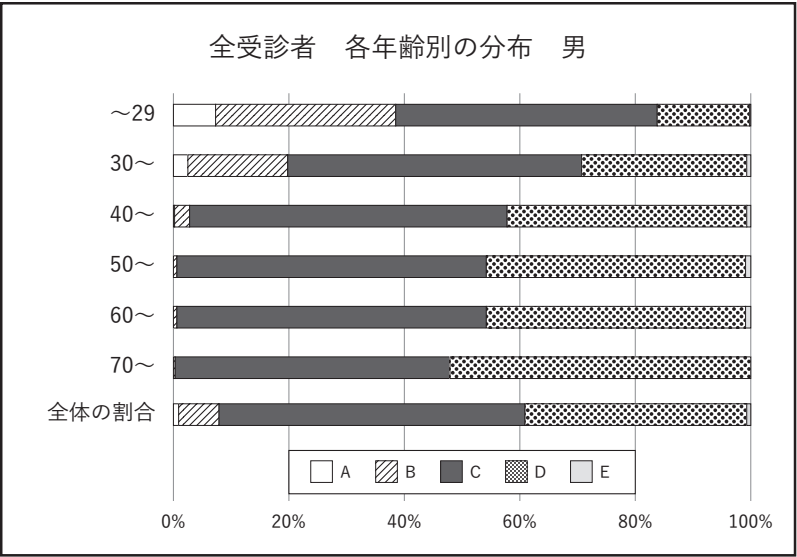
令和5年度の全受診者の診断結果を性別、年齢別に集計し判定結果の分布をグラフ化して表示した。

(1) 総合判定

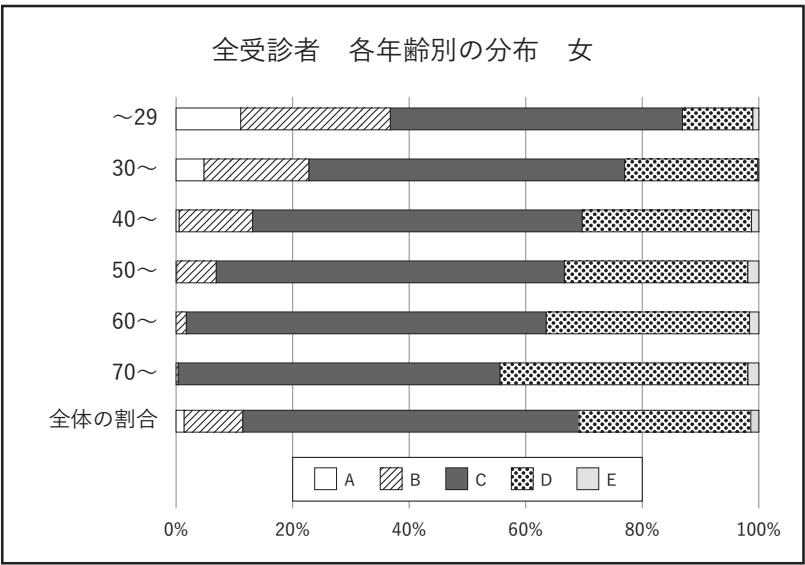
- 全ての項目で異常のないA判定の人は全体の1.0%（男 0.9%、女1.1%）のみである。
再検査や精密検査、経過観察などのため受診を勧められるD判定の人は全体で34.4%（男38.4%、女29.6%）におよぶ。特に70才以上の高齢者は治療中の疾患以外の異常で受診勧奨される人が49.3%（男52.1%、女42.5%）になった。
人間ドックのみで集計してもD判定の人は全体で39.7%（男44.0%、女34.3%）、70才以上の高齢者は53.8%（男56.6%、女46.7%）になった。人間ドックでD判定の人の割合が多いのは検査項目が多いためと考えられる。

全受診者

男性	内訳					
年齢	A	B	C	D	E	合計
～ 29	40	172	250	88	1	551
30 ～	28	196	575	324	8	1,131
40 ～	12	206	1,272	826	21	2,337
50 ～	5	80	1,665	1,257	22	3,029
60 ～	0	11	963	807	16	1,797
70 ～	0	2	315	345	0	662
合 計	85	667	5,040	3,647	68	9,507

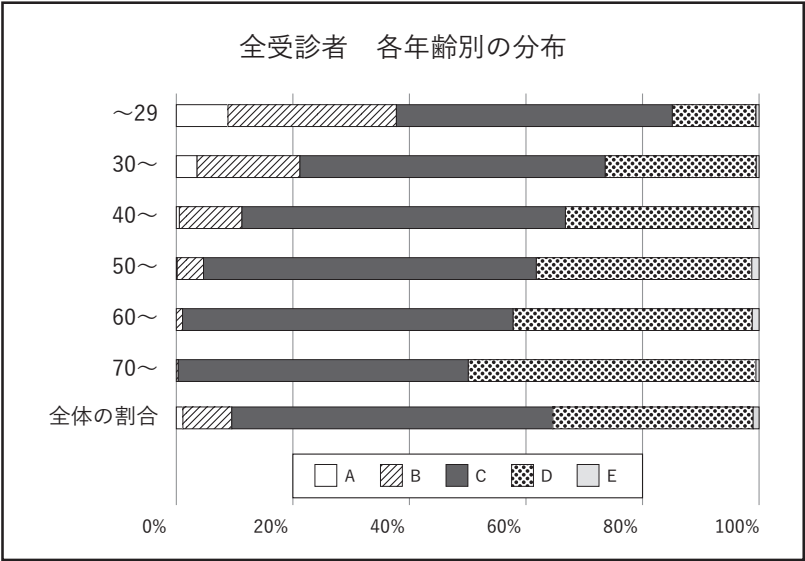


女性	人数					
年齢	A	B	C	D	E	合計
～ 29	44	102	199	48	4	397
30 ～	48	180	541	228	2	999
40 ～	13	304	1,364	700	30	2,411
50 ～	3	170	1,497	789	47	2,506
60 ～	0	20	701	396	18	1,135
70 ～	0	1	148	114	5	268
合 計	108	777	4,450	2,275	106	7,716



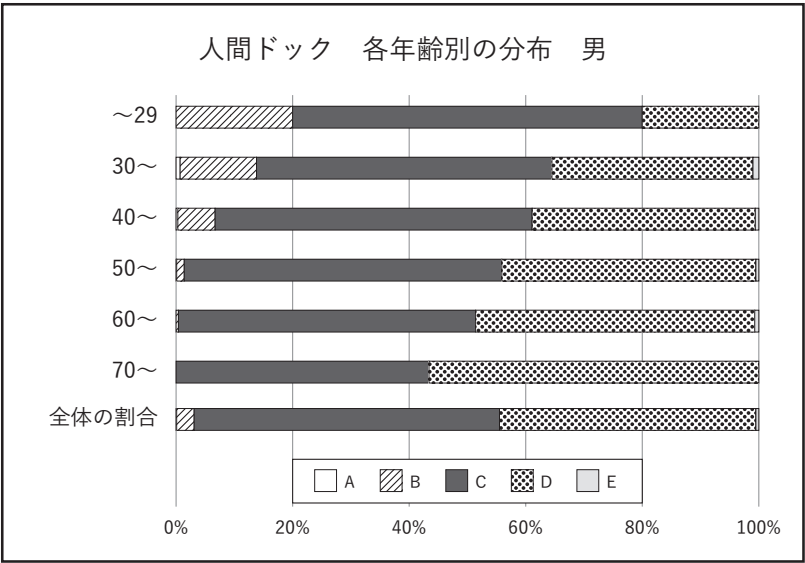
合計

年齢	人数					合計
	A	B	C	D	E	
～ 29	84	274	449	136	5	948
30 ～	76	376	1,116	552	10	2,130
40 ～	25	510	2,636	1,526	51	4,748
50 ～	8	250	3,162	2,046	69	5,535
60 ～	0	31	1,664	1,203	34	2,932
70 ～	0	3	463	459	5	930
合 計	193	1,444	9,490	5,922	174	17,223

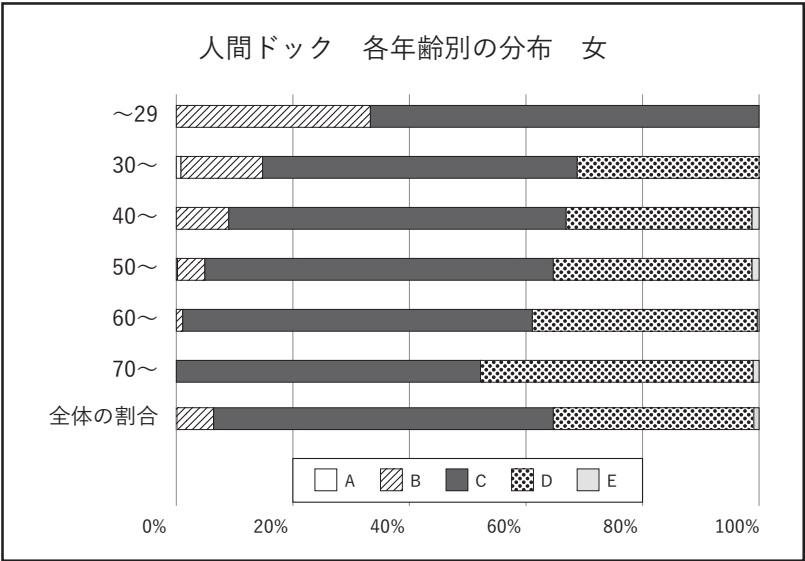


人間ドックのみ

年齢	内訳					合計
	A	B	C	D	E	
～ 29	0	3	9	3	0	15
30 ～	2	38	147	100	3	290
40 ～	3	76	646	454	7	1,186
50 ～	2	22	936	747	8	1,715
60 ～	0	5	590	554	8	1,157
70 ～	0	0	216	282	0	498
合 計	7	144	2,544	2,140	26	4,861

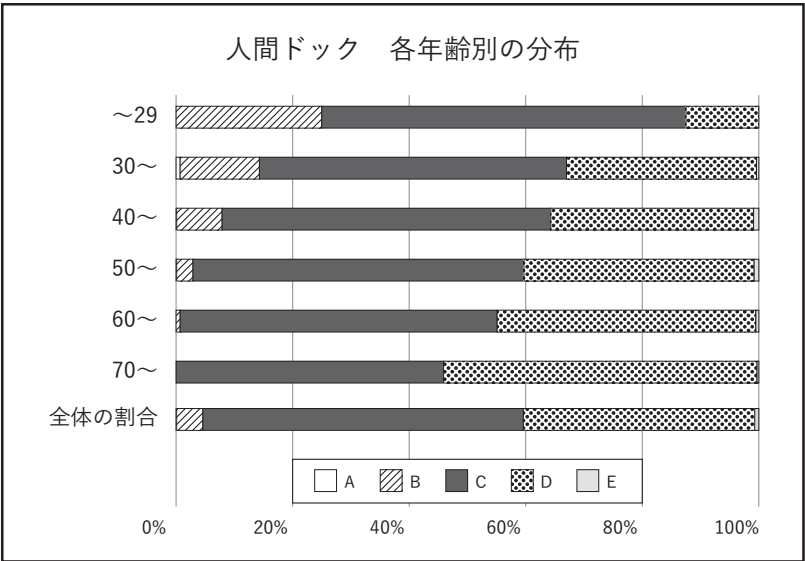


女性	人数					合計
年齢	A	B	C	D	E	
～ 29	0	3	6	0	0	9
30 ～	3	55	213	123	0	394
40 ～	0	125	802	441	16	1,384
50 ～	2	61	772	439	15	1,289
60 ～	0	8	420	270	2	700
70 ～	0	0	105	94	2	201
合 計	5	252	2,318	1,367	35	3,977



合計

年齢	人数					合計
	A	B	C	D	E	
～ 29	0	6	15	3	0	24
30 ～	5	93	360	223	3	684
40 ～	3	201	1,448	895	23	2,570
50 ～	4	83	1,708	1,186	23	3,004
60 ～	0	13	1,010	824	10	1,857
70 ～	0	0	321	376	2	699
合 計	12	396	4,862	3,507	61	8,838

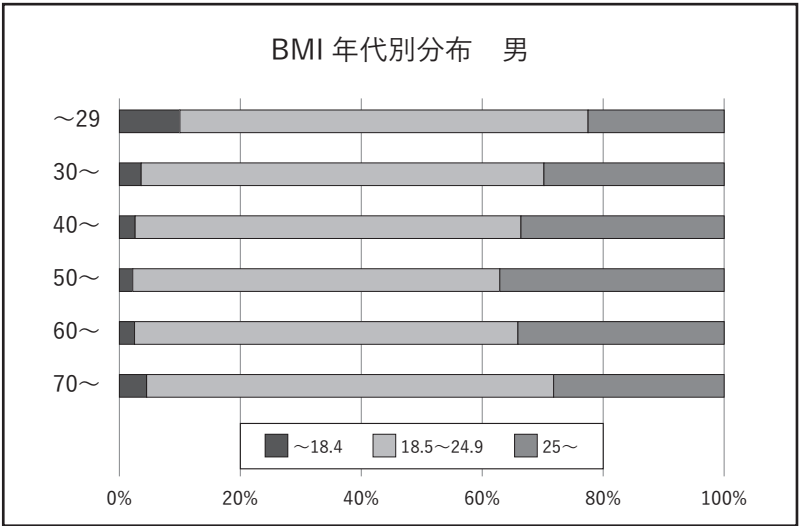


(2) 身体測定

- BMIが18.4以下の痩せている人は、最も比率の多い29歳以下の女性で23.7%、男性で10.0%と、特に男性は少数であった。一方、BMIが25以上の肥満の人は50才代に多く、男性は37.1%、女性でも19.7%におよんでいた。

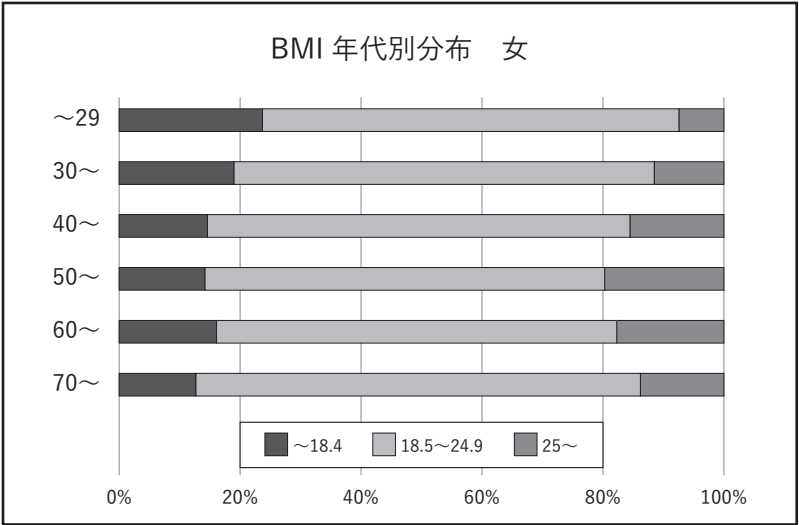
男

年齢	BMI			合計 人
	～18.4	18.5～24.9	25～	
～ 29	55	372	124	551
30～39	41	753	337	1,131
40～49	61	1,491	785	2,337
50～59	67	1,839	1,122	3,028
60～69	45	1,139	612	1,796
70 ～	30	445	187	662



女

年齢	BMI			合計 人
	～18.4	18.5～24.9	25～	
～ 29	93	271	29	393
30～39	186	680	112	978
40～49	353	1,684	373	2,410
50～59	355	1,657	494	2,506
60～69	181	753	201	1,135
70 ～	34	197	37	268



(3) 機能別判定

全受診者の各検査別の機能判定の分布を年齢別に集計して表示する。

- 全受診者と人間ドック受診者ともに、視力、脂質、血液一般、糖代謝においてC：要生活改善、D：要受診と判定されることが多かった。

意外にも腫瘍マーカーで要受診になる人が全体で5.2%、人間ドックで5.7%が該当した。

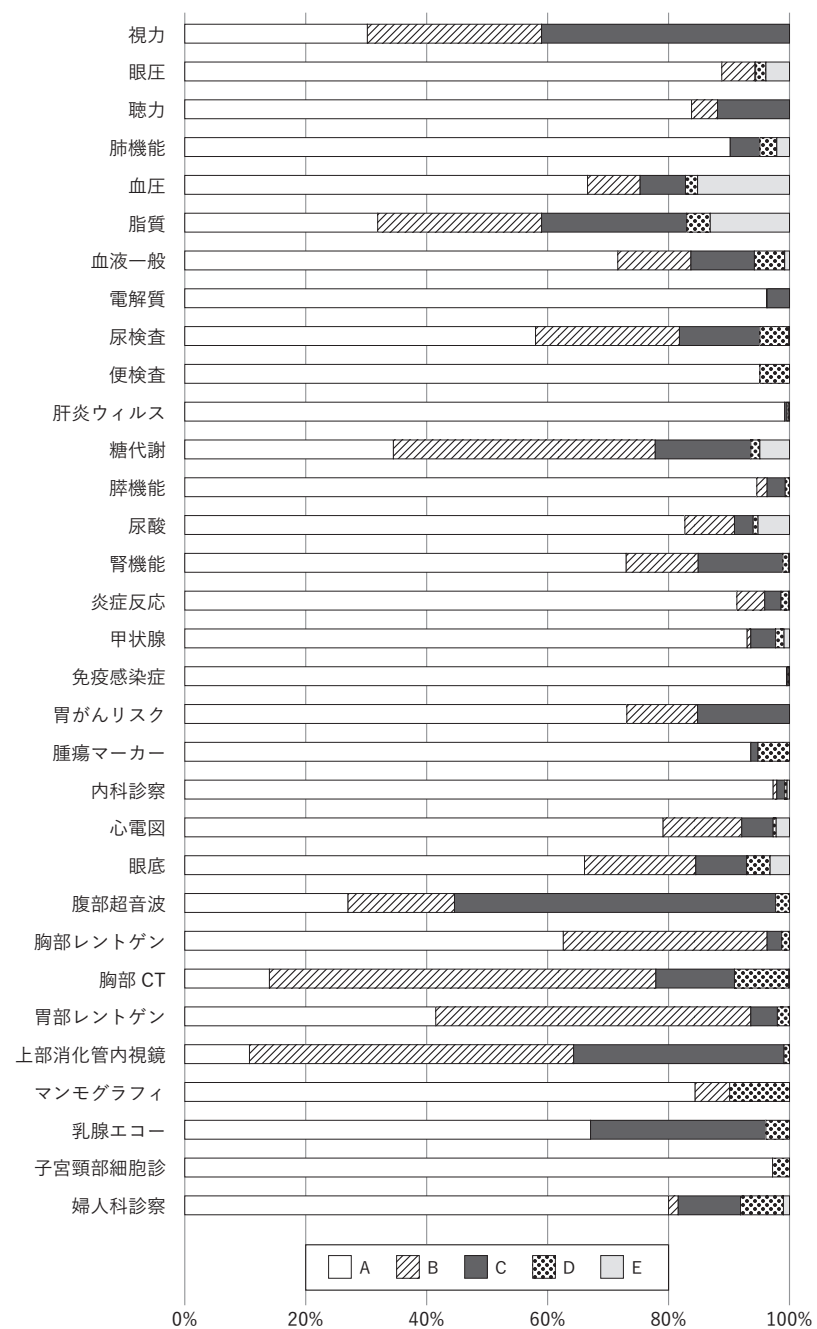
画像検査では腹部超音波、上部消化管内視鏡でC判定の人が多かった。胸部CTと上部消化管内視鏡ではほとんどがB：軽度異常の判定であった。

全受診者	人 数					
機能別判定	A	B	C	D	E	合計
視力	5,163	4,918	7,021	0	0	17,102
眼圧	8,652	541	7	170	379	9,749
聴力	14,235	732	2,029	0	0	16,996
肺機能	8,776	0	472	271	209	9,728
血圧	11,457	1,498	1,284	343	2,616	17,198
脂質	5,463	4,658	4,132	679	2,260	17,192
血液一般	12,245	2,075	1,796	864	135	17,115
電解質	8,981	13	348	2	0	9,344
尿検査	9,995	4,086	2,280	820	11	17,192
便検査	13,751	0	7	703	2	14,463
肝機能	10,284	3,153	2,092	1,555	110	17,194
肝炎ウィルス	9,939	0	36	30	11	10,016
糖代謝	5,937	7,458	2,708	250	837	17,190
膵機能	10,011	183	313	71	1	10,579
尿酸	13,410	1,330	503	128	843	16,214
腎機能	11,992	1,963	2,305	158	22	16,440
炎症反応	9,592	484	280	133	6	10,495
甲状腺	593	4	26	9	6	638
免疫感染症	611	1	0	1	0	613
胃がんリスク	866	138	180	0	0	1,184
腫瘍マーカー	6,803	0	84	378	0	7,265
内科診察	16,729	102	224	67	76	17,198
心電図	13,481	2,211	878	93	378	17,041
眼底	7,779	2,170	992	463	373	11,777
腹部超音波	3,156	2,061	6,190	273	3	11,683
胸部レントゲン	10,551	5,691	409	219	4	16,874
胸部CT	101	461	119	65	1	747
胃部レントゲン	3,453	4,340	363	164	0	8,320
上部消化管内視鏡	364	1,814	1,178	32	0	3,388
マンモグラフィ	2,670	182	0	315	0	3,167

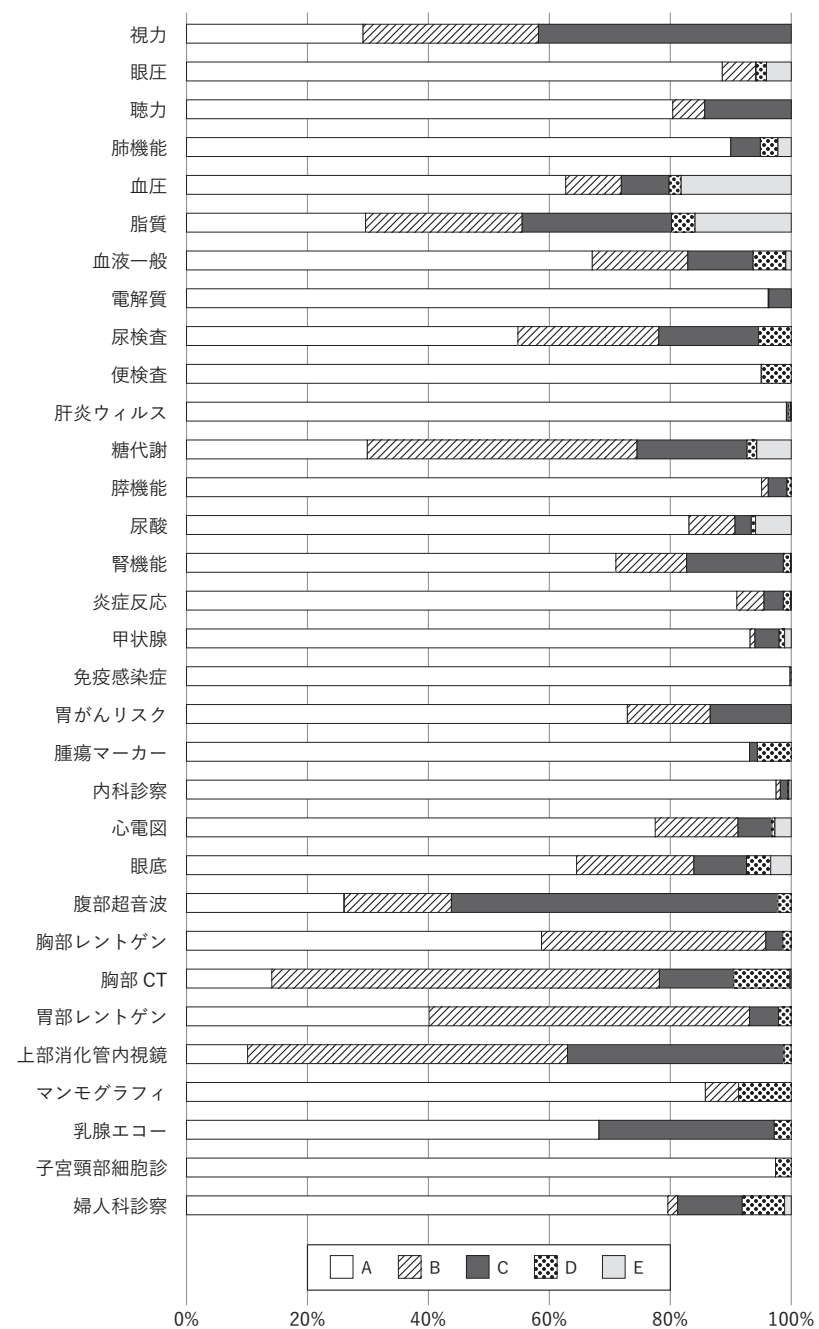
全受診者	人 数					
機能別判定	A	B	C	D	E	合計
乳腺エコー	1,354	0	586	79	0	2,019
子宮頸部細胞診	3,421	0	0	100	0	3,521
婦人科診察	2,815	57	364	249	36	3,521

人間ドックのみ	人 数					
機能別判定	A	B	C	D	E	合計
視力	2,580	2,558	3,692	0	0	8,830
眼圧	7,795	484	7	147	356	8,789
聴力	7,082	463	1,260	0	0	8,805
肺機能	7,917	0	434	258	190	8,799
血圧	5,539	812	699	181	1,607	8,838
脂質	2,613	2,290	2,184	345	1,405	8,837
血液一般	5,930	1,392	957	479	79	8,837
電解質	8,419	6	321	2	0	8,748
尿検査	4,842	2,054	1,462	473	3	8,834
便検査	7,971	0	6	407	1	8,385
肝炎ウィルス	8,687	0	32	26	11	8,756
糖代謝	2,643	3,938	1,608	141	507	8,837
膵機能	8,330	93	274	63	0	8,760
尿酸	7,341	674	241	58	523	8,837
腎機能	6,273	1,036	1,412	106	10	8,837
炎症反応	8,034	398	280	107	6	8,825
甲状腺	491	4	21	5	6	527
免疫感染症	565	1	0	0	0	566
胃がんリスク	584	110	107	0	0	801
腫瘍マーカー	4,621	0	67	276	0	4,964
内科診察	8,621	64	102	20	31	8,838
心電図	6,854	1,207	494	42	240	8,837
眼底	5,681	1,714	771	351	303	8,820
腹部超音波	2,292	1,565	4,771	198	2	8,828
胸部レントゲン	5,542	3,390	253	129	2	9,316
胸部CT	85	378	88	55	1	607
胃部レントゲン	2,049	2,659	242	100	0	5,050
上部消化管内視鏡	217	1,127	762	25	0	2,131
マンモグラフィ	1,728	112	0	180	0	2,020
乳腺エコー	807	0	343	33	0	1,183
子宮頸部細胞診	1,983	0	0	52	0	2,035
婦人科診察	1,622	32	217	142	22	2,035

機能別判定項目ごとの分布 全受診者



機能別判定項目ごとの分布 人間ドック



(4) 機能別判定・年齢別分布

- 年齢が高くなるほど聴力、血圧、糖代謝、腎機能、眼底、腹部超音波、胸部CT、胃部レントゲンにおいてC及びD判定が増加した。
- 乳腺エコーは、高齢者ほどC、D判定は減少した。

項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
視力	～ 29	281	280	383	0	0	944
	30 ～	915	588	606	0	0	2,109
	40 ～	1,659	1,306	1,748	0	0	4,713
	50 ～	1,508	1,560	2,423	0	0	5,491
	60 ～	697	902	1,318	0	0	2,917
	70 ～	103	282	543	0	0	928
	合計	5,163	4,918	7,021	0	0	17,102
眼圧	～ 29	33	0	0	0	0	33
	30 ～	803	31	0	14	4	852
	40 ～	2,634	131	2	48	56	2,871
	50 ～	3,006	189	1	60	107	3,363
	60 ～	1,641	117	4	35	136	1,933
	70 ～	535	73	0	13	76	697
	合計	8,652	541	7	170	379	9,749
聴力	～ 29	927	4	10	0	0	941
	30 ～	2,036	14	36	0	0	2,086
	40 ～	4,395	102	182	0	0	4,679
	50 ～	4,661	259	528	0	0	5,448
	60 ～	1,907	246	761	0	0	2,914
	70 ～	309	107	512	0	0	928
	合計	14,235	732	2,029	0	0	16,996
肺機能	～ 29	28	0	3	0	0	31
	30 ～	786	0	14	1	8	809
	40 ～	2,784	0	50	21	60	2,915
	50 ～	3,061	0	144	63	67	3,335
	60 ～	1,589	0	151	128	54	1,922
	70 ～	528	0	110	58	20	716
	合計	8,776	0	472	271	209	9,728

項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
血圧	～ 29	883	42	17	1	1	944
	30 ～	1,881	122	64	15	27	2,109
	40 ～	3,701	388	311	94	254	4,748
	50 ～	3,396	551	524	154	910	5,535
	60 ～	1,277	310	278	61	1,006	2,932
	70 ～	319	85	90	18	418	930
	合計	11,457	1,498	1,284	343	2,616	17,198
脂質	～ 29	479	307	139	14	2	941
	30 ～	901	652	454	74	27	2,108
	40 ～	1,814	1,418	1,123	192	201	4,748
	50 ～	1,460	1,448	1,538	283	804	5,533
	60 ～	607	654	707	97	867	2,932
	70 ～	202	179	171	19	359	930
	合計	5,463	4,658	4,132	679	2,260	17,192
血液一般	～ 29	757	73	70	36	3	939
	30 ～	1,519	192	265	118	14	2,108
	40 ～	3,206	571	540	338	63	4,718
	50 ～	3,996	747	484	232	37	5,496
	60 ～	2,161	378	284	89	13	2,925
	70 ～	606	114	153	51	5	929
	合計	12,245	2,075	1,796	864	135	17,115
電解質	～ 29	31	0	0	0	0	31
	30 ～	781	1	17	0	0	799
	40 ～	2,686	3	93	1	0	2,783
	50 ～	3,031	6	122	1	0	3,160
	60 ～	1,786	3	83	0	0	1,872
	70 ～	666	0	33	0	0	699
	合計	8,981	13	348	2	0	9,344
尿検査	～ 29	644	190	95	14	1	944
	30 ～	1,243	554	251	60	1	2,109
	40 ～	2,545	1,229	747	223	3	4,747
	50 ～	3,261	1,300	712	258	4	5,535
	60 ～	1,784	612	340	190	2	2,928
	70 ～	518	201	135	75	0	929
	合計	9,995	4,086	2,280	820	11	17,192

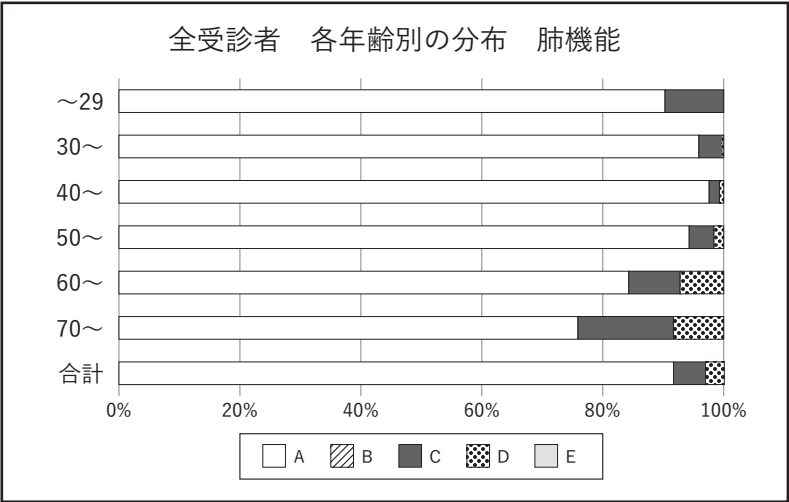
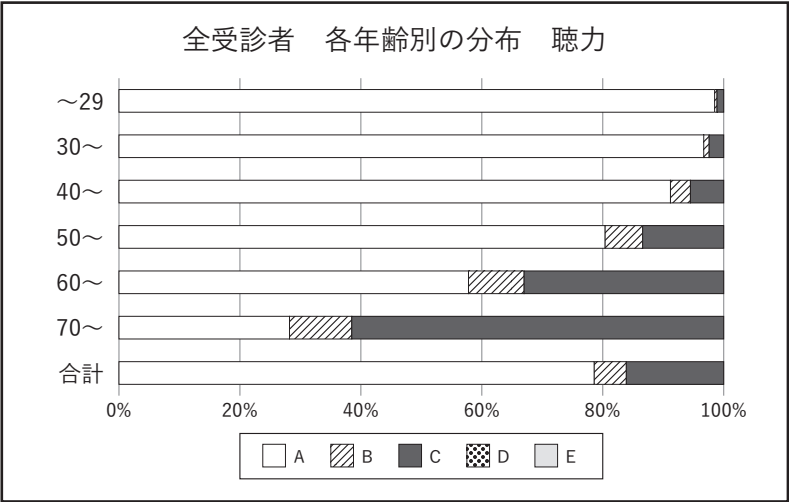
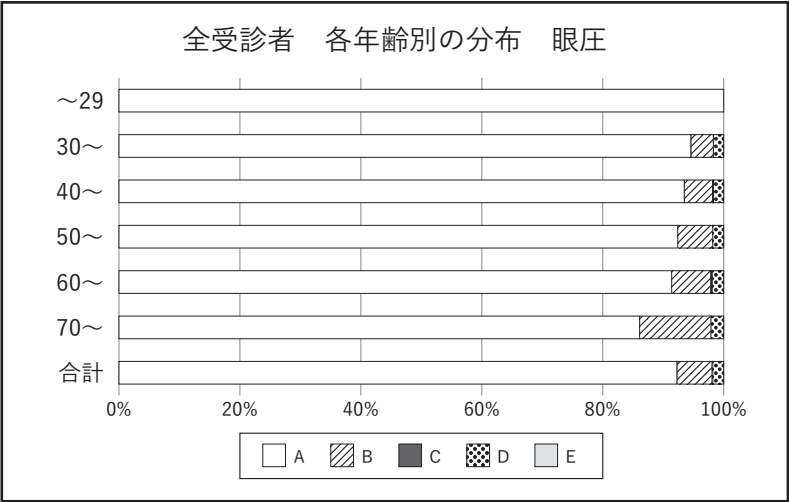
項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
便検査	～ 29	215	0	0	6	0	221
	30 ～	1,392	0	0	55	1	1,448
	40 ～	4,040	0	1	183	0	4,224
	50 ～	4,715	0	2	241	1	4,959
	60 ～	2,544	0	3	158	0	2,705
	70 ～	845	0	1	60	0	906
	合計	13,751	0	7	703	2	14,463
肝機能	～ 29	712	99	73	59	0	943
	30 ～	1,369	317	200	218	4	2,108
	40 ～	2,928	840	554	402	24	4,748
	50 ～	3,085	1,126	714	572	36	5,533
	60 ～	1,650	592	403	253	34	2,932
	70 ～	540	179	148	51	12	930
	合計	10,284	3,153	2,092	1,555	110	17,194
肝炎ウィルス	～ 29	137	0	0	0	0	137
	30 ～	878	0	0	2	0	880
	40 ～	2,868	0	5	2	3	2,878
	50 ～	3,348	0	15	17	8	3,388
	60 ～	2,007	0	9	7	0	2,023
	70 ～	701	0	7	2	0	710
	合計	9,939	0	36	30	11	10,016
糖代謝	～ 29	726	194	19	0	0	939
	30 ～	1,237	755	101	5	10	2,108
	40 ～	2,087	2,095	428	38	100	4,748
	50 ～	1,401	2,699	1,033	101	299	5,533
	60 ～	396	1,329	846	78	283	2,932
	70 ～	90	386	281	28	145	930
	合計	5,937	7,458	2,708	250	837	17,190
膵機能	～ 29	25	0	0	0	0	25
	30 ～	873	13	17	4	0	907
	40 ～	2,890	55	84	15	0	3,044
	50 ～	3,529	80	92	23	1	3,725
	60 ～	2,016	31	75	21	0	2,143
	70 ～	678	4	45	8	0	735
	合計	10,011	183	313	71	1	10,579

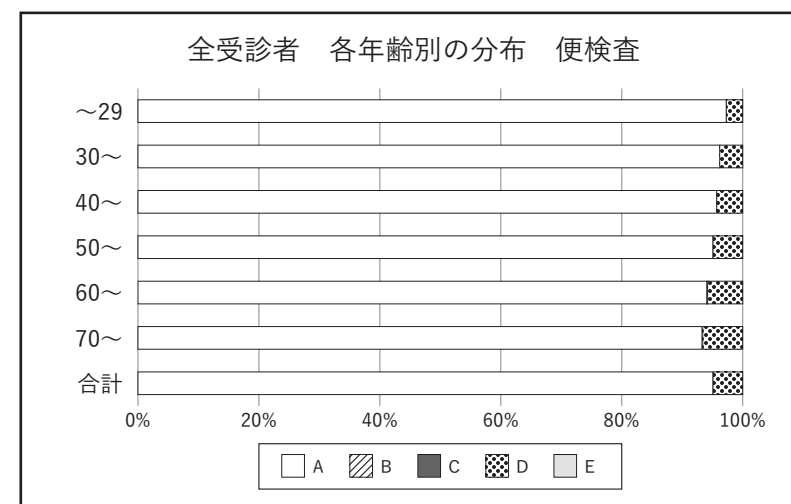
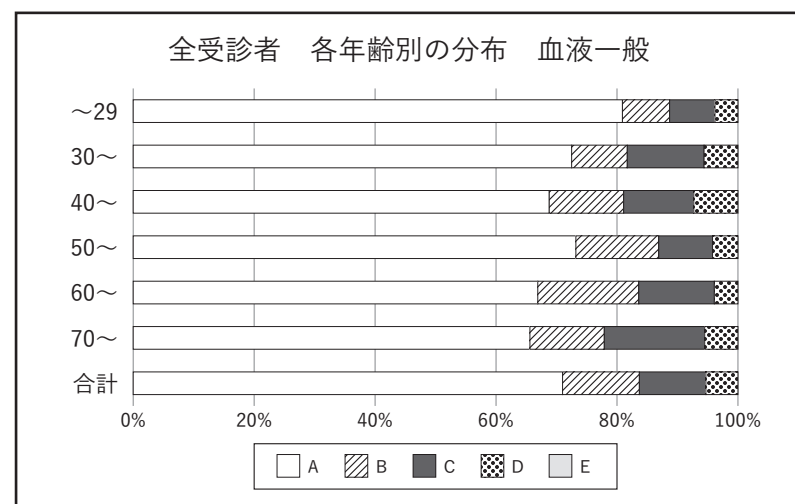
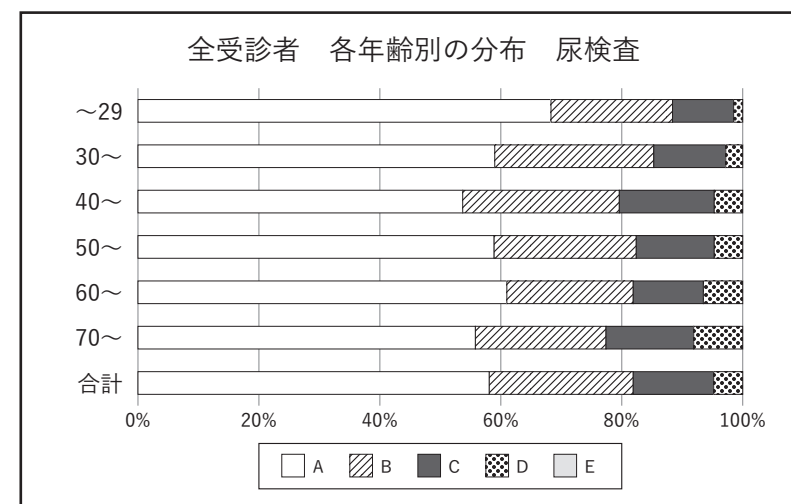
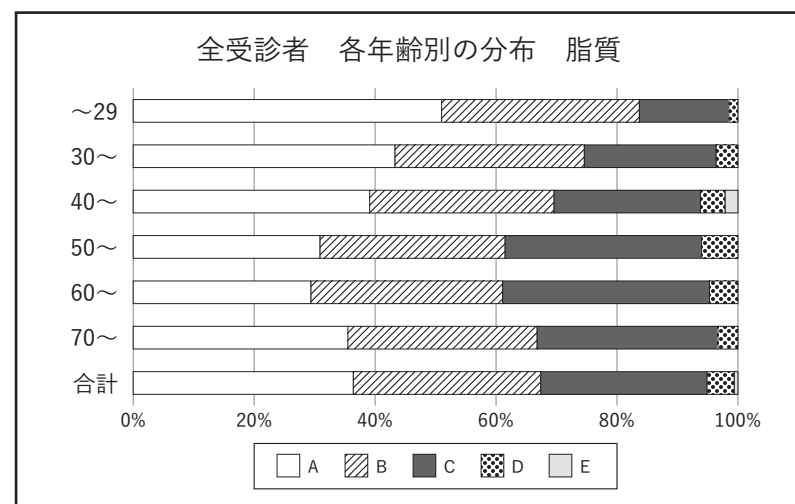
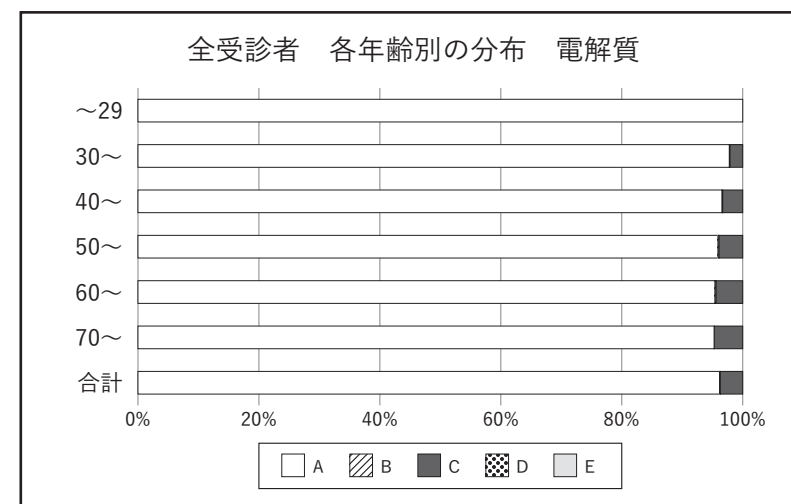
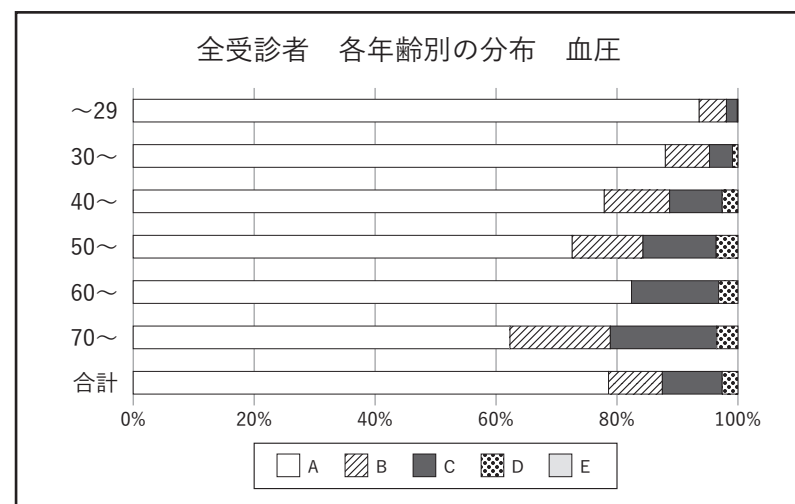
項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
尿酸	～ 29	519	58	26	4	0	607
	30 ～	1,607	185	85	25	27	1,929
	40 ～	3,930	396	145	47	116	4,634
	50 ～	4,364	434	174	38	294	5,304
	60 ～	2,260	207	55	12	283	2,817
	70 ～	730	50	18	2	123	923
	合計	13,410	1,330	503	128	843	16,214
腎機能	～ 29	464	78	20	0	0	562
	30 ～	1,545	268	61	2	1	1,877
	40 ～	3,650	735	297	6	4	4,692
	50 ～	3,896	701	818	50	9	5,474
	60 ～	1,900	169	789	45	7	2,910
	70 ～	537	12	320	55	1	925
	合計	11,992	1,963	2,305	158	22	16,440
炎症反応	～ 29	27	5	1	0	0	33
	30 ～	846	57	9	16	0	928
	40 ～	2,868	128	49	37	0	3,082
	50 ～	3,377	160	98	49	3	3,687
	60 ～	1,846	89	87	22	0	2,044
	70 ～	628	45	36	9	3	721
	合計	9,592	484	280	133	6	10,495
甲状腺	～ 29	3	0	0	0	0	3
	30 ～	73	1	4	1	1	80
	40 ～	209	2	5	1	1	218
	50 ～	197	1	7	5	3	213
	60 ～	91	0	5	1	0	97
	70 ～	20	0	5	1	1	27
	合計	593	4	26	9	6	638
免疫感染症	～ 29	3	0	0	1	0	4
	30 ～	81	0	0	0	0	81
	40 ～	194	0	0	0	0	194
	50 ～	211	0	0	0	0	211
	60 ～	91	1	0	0	0	92
	70 ～	31	0	0	0	0	31
	合計	611	1	0	1	0	613

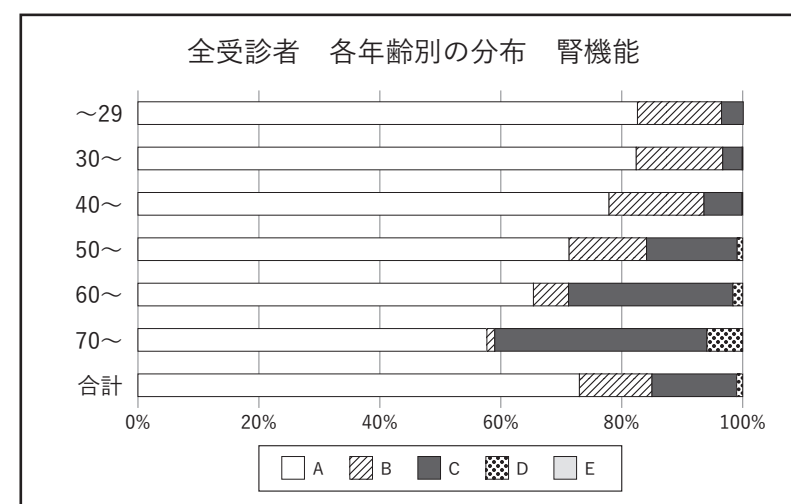
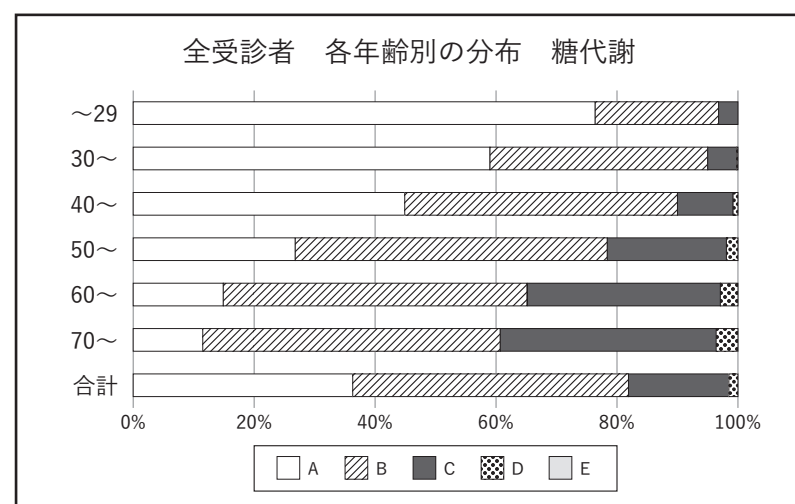
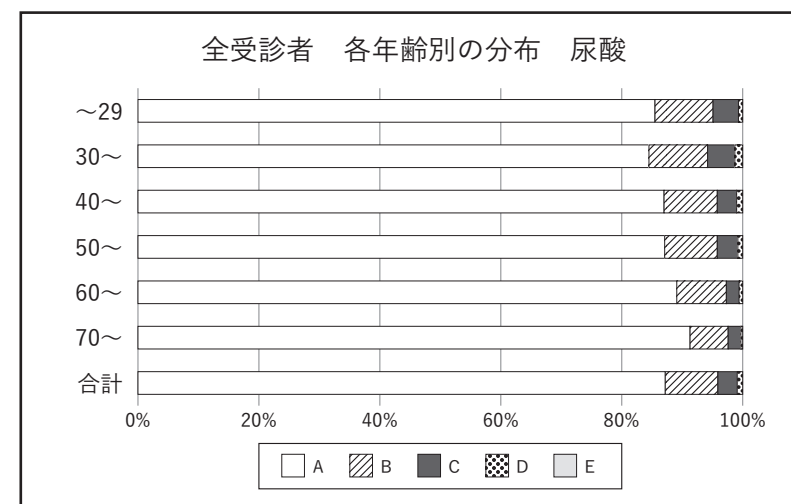
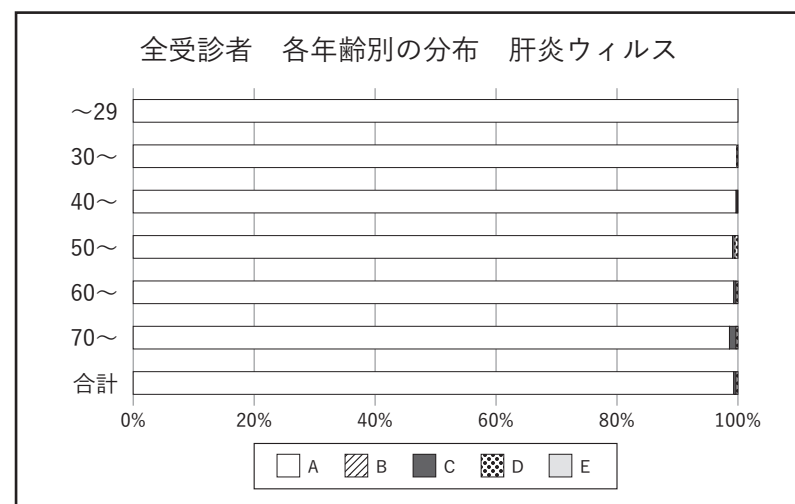
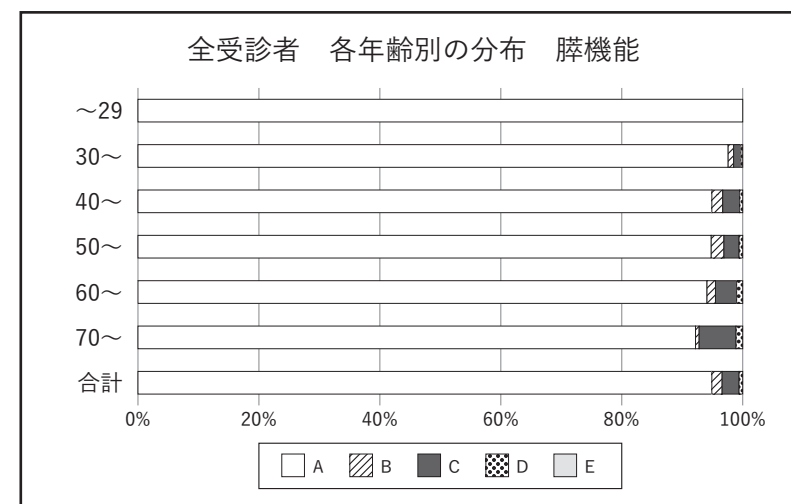
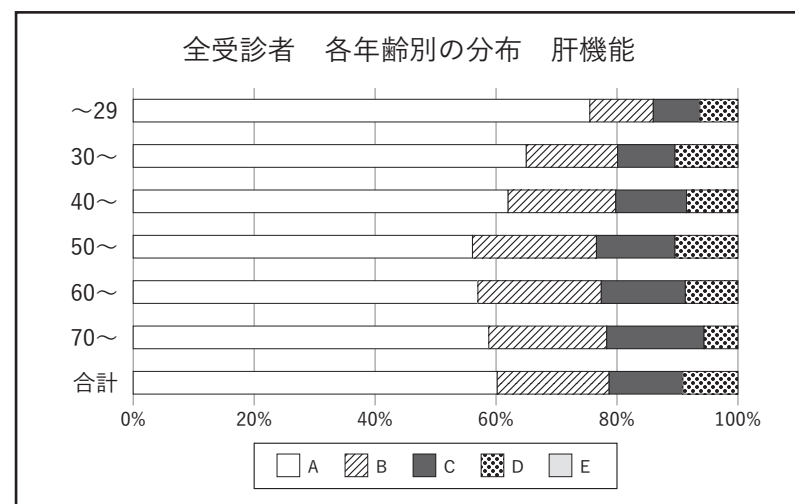
項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
胃がんリスク	～ 29	12	0	5	0	0	17
	30 ～	160	5	24	0	0	189
	40 ～	294	32	45	0	0	371
	50 ～	240	35	62	0	0	337
	60 ～	124	45	28	0	0	197
	70 ～	36	21	16	0	0	73
	合計	866	138	180	0	0	1,184
腫瘍マーカー	～ 29	29	0	0	1	0	30
	30 ～	461	0	6	10	0	477
	40 ～	1,770	0	13	49	0	1,832
	50 ～	2,592	0	26	121	0	2,739
	60 ～	1,479	0	30	125	0	1,634
	70 ～	472	0	9	72	0	553
	合計	6,803	0	84	378	0	7,265
内科診察	～ 29	919	1	14	8	2	944
	30 ～	2,072	7	19	6	5	2,109
	40 ～	4,631	25	58	14	20	4,748
	50 ～	5,374	34	83	19	25	5,535
	60 ～	2,848	28	33	10	13	2,932
	70 ～	885	7	17	10	11	930
	合計	16,729	102	224	67	76	17,198
心電図	～ 29	776	101	10	3	5	895
	30 ～	1,843	200	33	2	27	2,105
	40 ～	4,024	503	141	20	108	4,796
	50 ～	4,287	752	315	39	139	5,532
	60 ～	2,044	480	243	17	99	2,883
	70 ～	507	175	136	12	0	830
	合計	13,481	2,211	878	93	378	17,041
眼底	～ 29	43	4	0	0	0	47
	30 ～	966	58	36	12	5	1,077
	40 ～	2,899	298	133	93	57	3,480
	50 ～	2,731	831	325	170	122	4,179
	60 ～	971	673	338	135	130	2,247
	70 ～	169	306	160	53	59	747
	合計	7,779	2,170	992	463	373	11,777

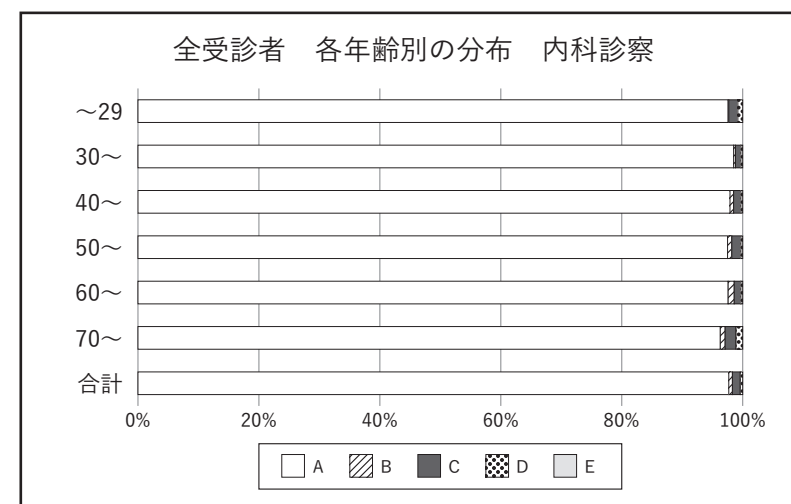
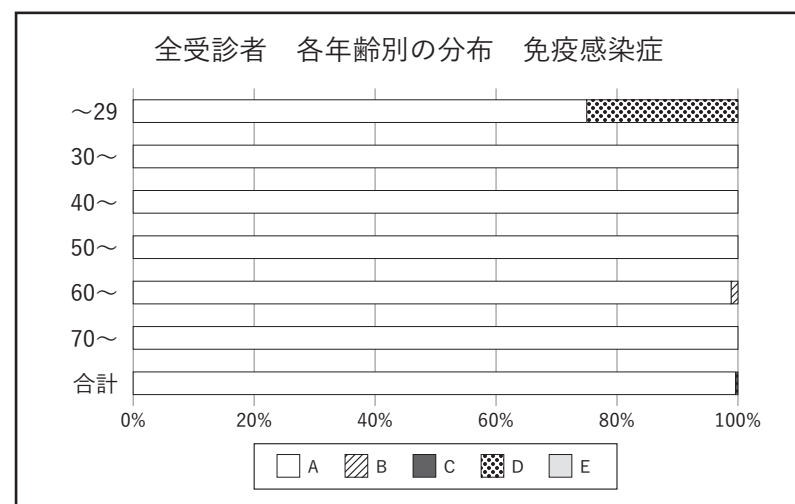
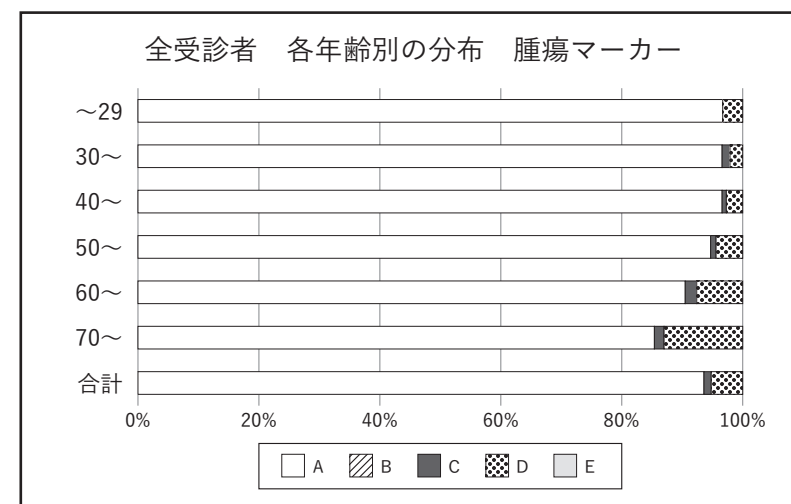
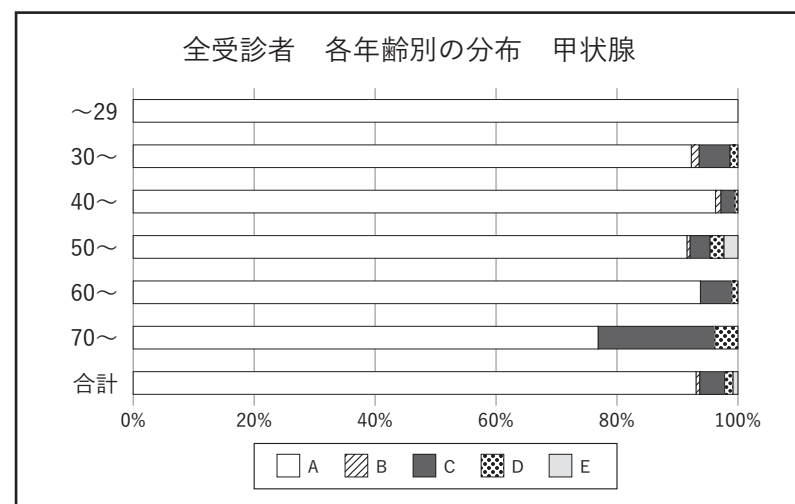
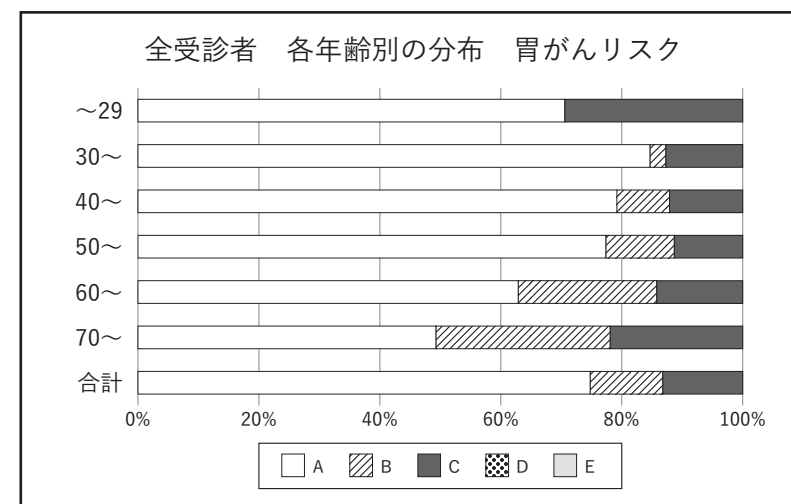
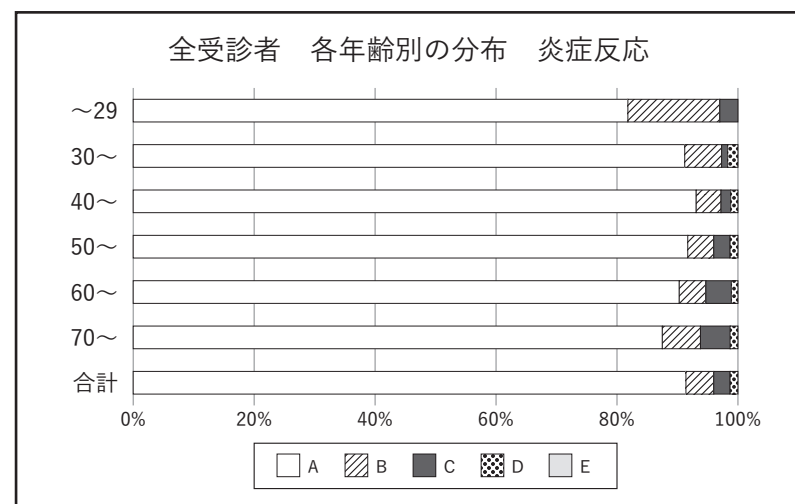
項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
腹部超音波	～ 29	28	3	3	0	0	34
	30 ～	530	145	316	23	0	1,014
	40 ～	1,265	575	1,589	54	2	3,485
	50 ～	923	722	2,438	86	0	4,169
	60 ～	337	451	1,364	68	1	2,221
	70 ～	73	165	480	42	0	760
	合計	3,156	2,061	6,190	273	3	11,683
胸部レントゲン	～ 29	828	79	3	3	0	913
	30 ～	1,723	286	18	9	0	2,036
	40 ～	3,586	966	59	38	0	4,649
	50 ～	3,244	1,989	132	80	1	5,446
	60 ～	1,044	1,678	128	51	2	2,903
	70 ～	126	693	69	38	1	927
	合計	10,551	5,691	409	219	4	16,874
胸部CT	～ 29	0	0	0	0	0	0
	30 ～	14	13	3	3	0	33
	40 ～	48	95	27	10	0	180
	50 ～	36	202	44	16	0	298
	60 ～	3	118	32	22	1	176
	70 ～	0	33	13	14	0	60
	合計	101	461	119	65	1	747
胃部レントゲン	～ 29	23	11	2	0	0	36
	30 ～	486	328	16	13	0	843
	40 ～	1,241	1,276	78	35	0	2,630
	50 ～	1,150	1,607	140	52	0	2,949
	60 ～	457	867	83	50	0	1,457
	70 ～	96	251	44	14	0	405
	合計	3,453	4,340	363	164	0	8,320
上部消化管内視鏡	～ 29	0	3	0	0	0	3
	30 ～	72	142	39	1	0	254
	40 ～	153	503	224	3	0	883
	50 ～	115	673	428	9	0	1,225
	60 ～	22	373	326	10	0	731
	70 ～	2	120	161	9	0	292
	合計	364	1,814	1,178	32	0	3,388

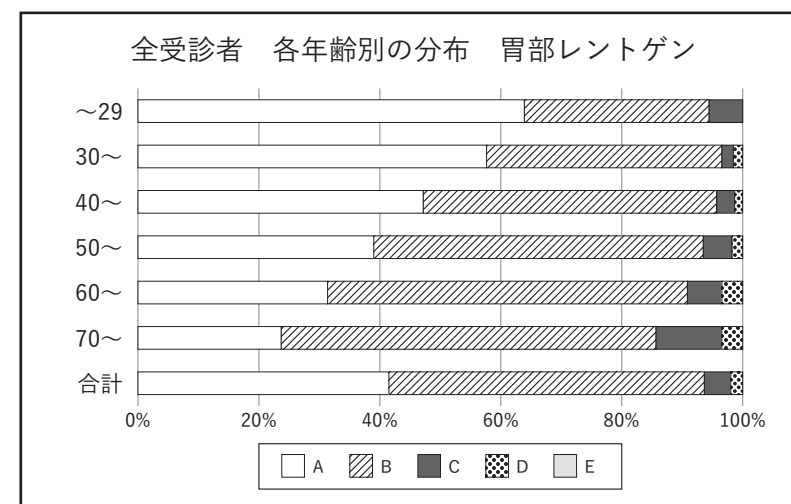
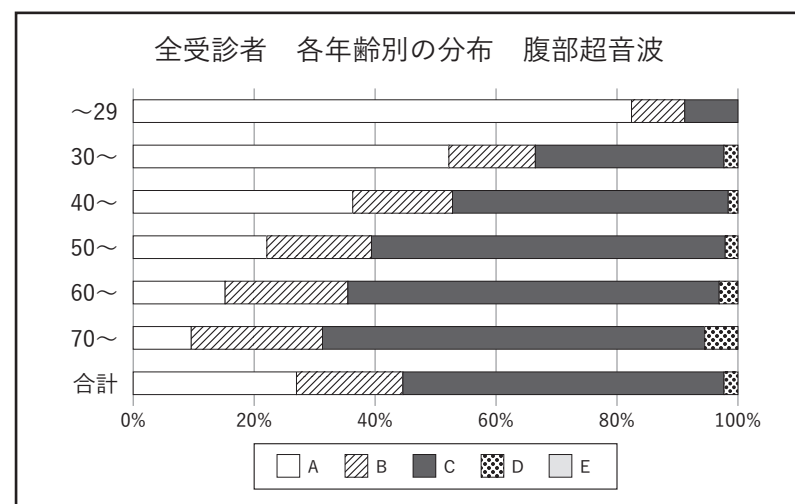
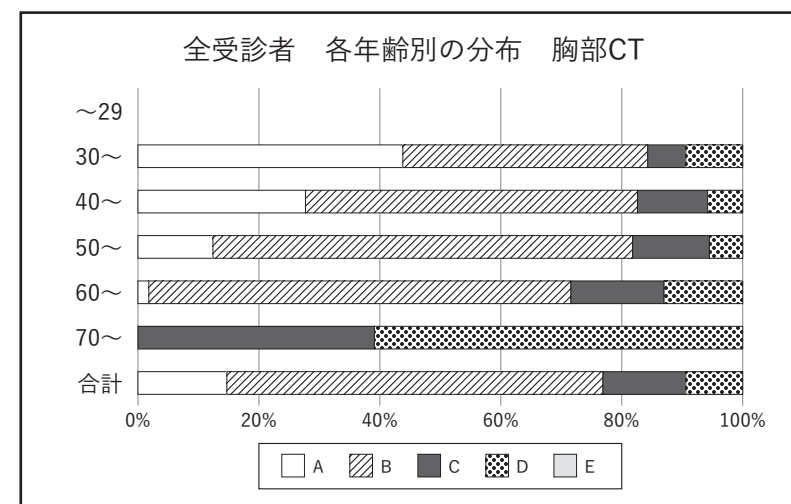
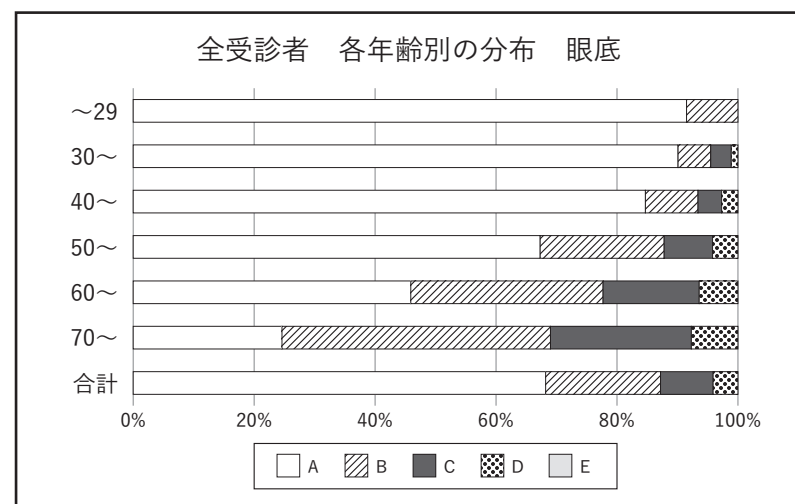
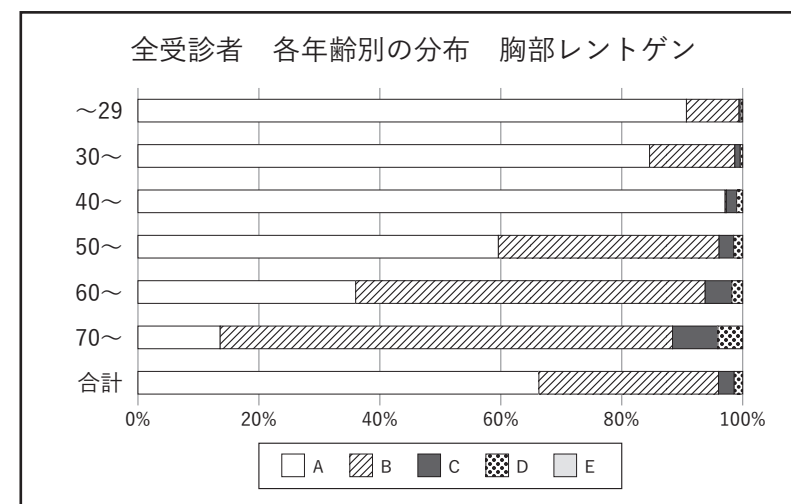
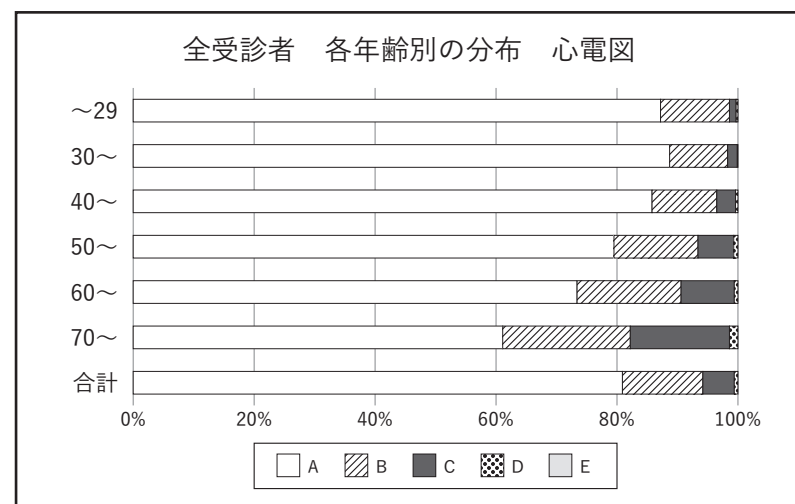
項目	年齢	人数					合計
		A	B	C	D	E	
マンモグラフィ	～ 29	5	0	0	1	0	6
	30 ～	150	11	0	28	0	189
	40 ～	1,037	69	0	142	0	1,248
	50 ～	988	61	0	109	0	1,158
	60 ～	413	36	0	31	0	480
	70 ～	77	5	0	4	0	86
	合計	2,670	182	0	315	0	3,167
乳腺エコー	～ 29	26	0	15	4	0	45
	30 ～	356	0	119	18	0	493
	40 ～	402	0	245	31	0	678
	50 ～	368	0	159	19	0	546
	60 ～	172	0	45	6	0	223
	70 ～	30	0	3	1	0	34
	合計	1,354	0	586	79	0	2,019
子宮頸部細胞診	～ 29	69	0	0	5	0	74
	30 ～	447	0	0	28	0	475
	40 ～	1,222	0	0	39	0	1,261
	50 ～	1,126	0	0	24	0	1,150
	60 ～	467	0	0	4	0	471
	70 ～	90	0	0	0	0	90
	合計	3,421	0	0	100	0	3,521
婦人科診察	～ 29	66	0	7	1	0	74
	30 ～	378	10	53	30	4	475
	40 ～	952	29	147	113	20	1,261
	50 ～	922	15	114	88	11	1,150
	60 ～	409	3	42	16	1	471
	70 ～	88	0	1	1	0	90
	合計	2,815	57	364	249	36	3,521

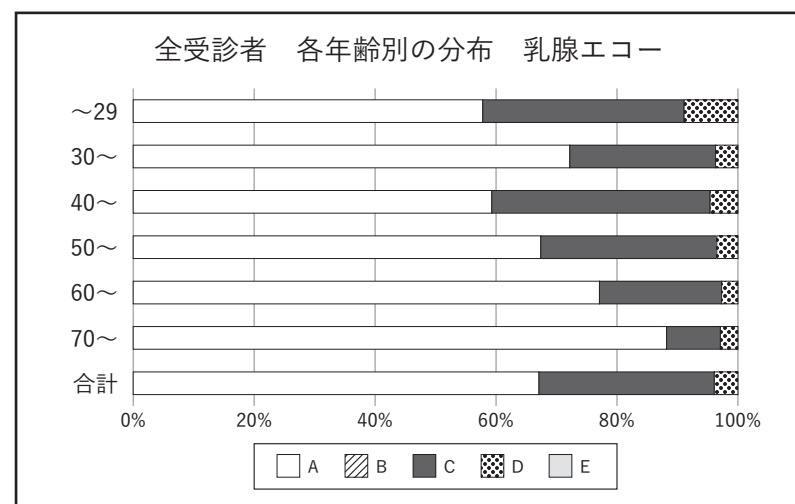
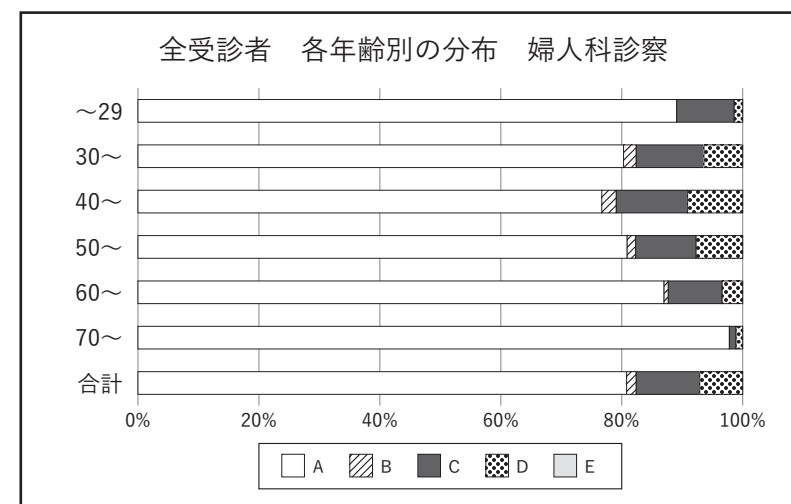
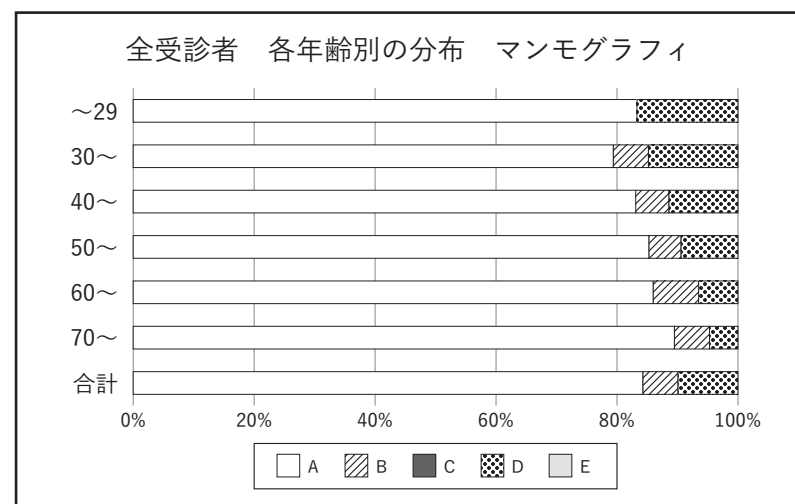
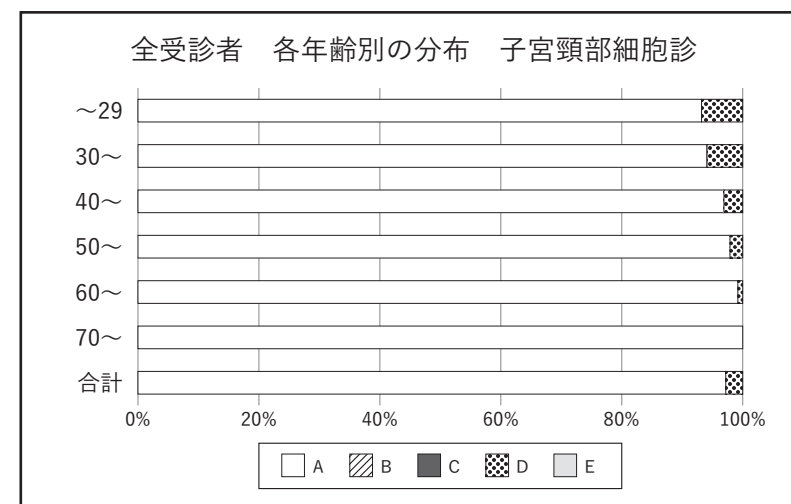
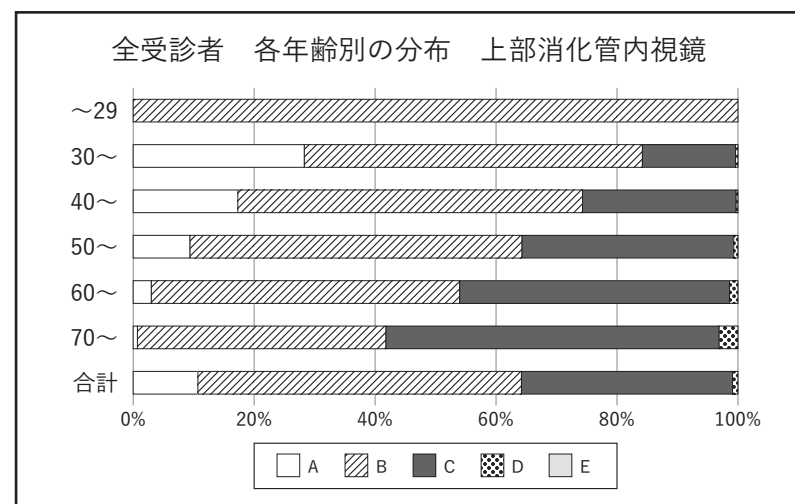












3. 臓器別がん発見数・検査別所見の一覧

(1) 年齢、ドック別の臓器別がん発見数

- ・がんの発見率は全体では0.2%であるが70才以上では1.3%が認められた。
- ・全体で34人、うち人間ドックでは18人のがんが発見された。近年の傾向は全体では乳がんが、人間ドックでは胃がん、大腸がんが多く発見されている。

全体

臓器	年齢						合計
	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
食道							0
胃						4	4
大腸			3	3	1	2	9
甲状腺							0
子宮		1		1			2
腎臓							0
前立腺				1		2	3
乳房			4	3	4		11
膵臓							0
肺				1		1	2
その他				1		2	3
合計 A	0	1	7	10	5	11	34
受診者数 B	1,003	2,253	4,812	5,478	2,813	864	17,223
割合 A/B	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	1.3%	0.2%

過去のデータ

	2019年	2020年	2021年	2022年
食道	1	5	3	1
胃	6	4	8	8
大腸	23	7	13	7
甲状腺	0	0	2	1
子宮	2	0	1	1
腎臓	0	3	0	1
前立腺	5	3	12	2
乳房	12	9	14	9
膵臓	0	1	0	1
肺	2	2	2	0
その他	4	3	1	0
合計	55	37	56	31

人間ドックのみ

臓器	年齢						合計
	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
食道							0
胃						3	3
大腸			2	2	1	1	6
甲状腺							0
子宮							0
腎臓							0
前立腺				1		2	3
乳房			2	1			3
膵臓							0
肺				1		1	2
その他						1	1
合計 A	0	0	4	5	1	8	18
受診者数 B	24	684	2,570	3,004	1,857	699	8,838
割合 A/B	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	1.1%	0.2%

過去のデータ

	2019年	2020年	2021年	2022年
食道	1	2	3	1
胃	3	3	6	5
大腸	14	4	8	3
甲状腺	0	0	1	0
子宮	1	0	0	0
腎臓	0	2	0	1
前立腺	4	0	7	1
乳房	4	6	7	4
膵臓	0	1	0	1
肺	2	0	1	0
その他	4	3	1	0
合計	33	21	34	16

(2) 主な検査所見

胸部レントゲン

正常62.5%、D判定1.3%、精検受診者数は131例あり、がん発見数は2例だった。

胸部レントゲンでは、大動脈の石灰化や蛇行、炎症瘢痕や胸膜肥厚などの異常が約1割程度に認められた。

	男性 9,395人		女性 7,479人		合計 16,874人	
一人に対して複数所見あり	男		女		合計	
所見 疑いを含む	人数	比率	人数	比率	人数	比率
大動脈石灰化	1,029	11.0%	525	7.0%	1,554	9.2%
大動脈蛇行	1,222	13.0%	513	6.9%	1,735	10.3%
炎症瘢痕・硬化像	1,021	10.9%	831	11.1%	1,852	11.0%
結節・腫瘤影	123	1.3%	90	1.2%	213	1.3%
浸潤・炎症像	31	0.3%	27	0.4%	58	0.3%
ブラ、プレブ・肺気腫、のう胞	120	1.3%	7	0.1%	127	0.8%
胸膜肥厚・癒着	802	8.5%	547	7.3%	1,349	8.0%
正常	5,570	59.3%	4,981	66.6%	10,551	62.5%
合計	9,918		7,521		17,439	

精密検査（追跡調査）の結果

一人1病名

所見 疑い・瘢痕を含む	人数	割合
正常	35	26.7%
肺がん	2	1.5%
肺がん疑い	2	1.5%
乳がん	1	0.8%
結核（陳旧性含む）	1	0.8%
炎症性疾患	47	35.9%
ブラ・プレブ	1	0.8%
陳旧性炎症	19	14.5%
縦隔腫瘍	1	0.8%
その他	22	16.8%
合計	131	100.0%

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
16,874	219	131	2	0.01%

胸部CT

正常13.4%、D判定8.7%、精検受診者数は37例あり、がん発見数は0例だった。

胸部CTでは正常は13.4%のみで大動脈の石灰化や炎症瘢痕は約半数の人に認められた。今回、がんは発見されなかった。

	男性 510人		女性 237人		合計 747人	
一人に対して複数所見あり	男		女		合計	
所見 疑いを含む	人数	比率	人数	比率	人数	比率
大動脈石灰化	287	56.3%	88	37.1%	375	50.2%
炎症瘢痕	197	38.6%	117	49.4%	314	42.0%
結節・腫瘤影	116	22.7%	42	17.7%	158	21.2%
浸潤・炎症像	16	3.1%	6	2.5%	22	2.9%
ブラ、プレブ・肺気腫	131	25.7%	13	5.5%	144	19.3%
胸膜肥厚・癒着	87	17.1%	51	21.5%	138	18.5%
甲状腺異常	2	0.4%	7	3.0%	9	1.2%
正常	55	10.8%	45	19.0%	100	13.4%
合計	891		369		1,260	

精密検査（追跡調査）の結果

一人1病名

所見 瘢痕を含む	人数	割合
正常	4	10.8%
肺がん	0	0.0%
肺がん疑い	2	5.4%
結核（陳旧性含む）	0	0.0%
炎症性疾患	17	45.9%
ブラ・プレブ	1	2.7%
陳旧性炎症	1	2.7%
縦隔腫瘍	4	10.8%
その他	8	21.6%
合計	37	100.0%

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
747	65	37	0	0.00%

胃部レントゲン

正常41.5％、D判定2.0％、精検受診者数は94例あり、がん発見数は0例だった。

胃部レントゲンでは胃炎・びらんとポリープが多く認められたが、がんは発見されなかった。

	男性 5,453人		女性 2,867人		合計 8,320人	
一人に対して複数所見あり	男		女		合計	
所見 疑いを含む	人数	比率	人数	比率	人数	比率
食道炎	276	5.1%	29	1.0%	305	3.7%
食道ポリープ	20	0.4%	17	0.6%	37	0.4%
食道陥凹性・隆起性病変	8	0.1%	2	0.1%	10	0.1%
胃炎・びらん	1,354	24.8%	493	17.2%	1,847	22.2%
胃ポリープ	1,432	26.3%	1,348	47.0%	2,780	33.4%
胃潰瘍・潰瘍瘢痕	69	1.3%	13	0.5%	82	1.0%
胃陥凹・隆起性病変	55	1.0%	10	0.3%	65	0.8%
胃粘膜下腫瘍	73	1.3%	75	2.6%	148	1.8%
十二指腸炎	14	0.3%	2	0.1%	16	0.2%
十二指腸潰瘍・潰瘍瘢痕	88	1.6%	13	0.5%	101	1.2%
十二指腸憩室	294	5.4%	167	5.8%	461	5.5%
正常	2,469	45.3%	984	34.3%	3,453	41.5%
合計	6,152		3,153		9,305	

精密検査（追跡調査）の結果

一人1病名

所見 瘢痕を含む	人数	割合
正常	10	10.6%
食道がん	0	0.0%
胃がん	0	0.0%
十二指腸がん疑い	1	1.1%
食道潰瘍	1	1.1%
胃・十二指腸潰瘍	9	9.6%
胃腺腫	0	0.0%
食道ポリープ	0	0.0%
食道炎	5	5.3%
胃ポリープ	12	12.8%
胃炎・びらん	43	45.7%
食道・胃SMT	9	9.6%
その他	4	4.3%
合計	94	100.0%

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
8,320	164	94	0	0.00%

上部消化管内視鏡

正常10.7％、D判定0.9％、精検受診者数は18例あり、がん発見数は5例だった。

上部消化管内視鏡では胃ポリープが4割の人に認められた。胃炎、食道炎の人も多く、精密検査も含め、胃がん5例が発見された。

	男性 2,085人		女性 1,303人		合計 3,388人	
一人に対して複数所見あり	男	有所見率	女	有所見率	合計	有所見率
所見 疑いを含む	人数	比率	人数	比率	人数	比率
食道ポリープ	9	0.4%	5	0.4%	14	0.4%
食道がん	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食道粘膜下腫瘍	35	1.7%	8	0.6%	43	1.3%
食道炎(逆流性を含む)	606	29.1%	133	10.2%	739	21.8%
食道バレット	164	7.9%	72	5.5%	236	7.0%
食道静脈瘤(孤立性を含む)	13	0.6%	10	0.8%	23	0.7%
胃がん	4	0.2%	0	0.0%	4	0.1%
胃潰瘍(瘢痕を含む)	46	2.2%	18	1.4%	64	1.9%
胃ポリープ	827	39.7%	642	49.3%	1,469	43.4%
萎縮性胃炎	685	32.9%	366	28.1%	1,051	31.0%
胃炎(萎縮性以外)	516	24.7%	248	19.0%	764	22.6%
胃粘膜下腫瘍	86	4.1%	75	5.8%	161	4.8%
十二指腸炎	111	5.3%	31	2.4%	142	4.2%
十二指腸潰瘍(瘢痕を含む)	89	4.3%	28	2.1%	117	3.5%
十二指腸憩室	9	0.4%	3	0.2%	12	0.4%
十二指腸ポリープ	19	0.9%	5	0.4%	24	0.7%
正常	184	8.8%	180	13.8%	364	10.7%
合計	3,403		1,824		5,227	

精密検査（追跡調査）の結果

一人1病名

所見 疑い・瘢痕を含む	人数	割合
正常	0	0.0%
食道がん	0	0.0%
胃がん	3	16.7%
食道潰瘍	0	0.0%
胃・十二指腸潰瘍	0	0.0%
胃腺腫	0	0.0%
食道ポリープ	0	0.0%
食道炎	2	11.1%
胃ポリープ	2	11.1%
胃炎・びらん	2	11.1%
食道・胃粘膜下腫瘍	1	5.6%
その他	8	44.4%
合計	18	100%

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
3,388	32	18	4	0.1%

腹部超音波

正常27.0％、D判定2.3％、精検受診者数は165例あり、がん発見数は0例だった。

腹部超音波では、男性の45％に脂肪肝を認め、肝のう胞、腎のう胞は13％、17％に認め、胆のうポリープは9％の人に認めた。今回、がんは発見されなかった。

腹部超音波検査受診者	男性	6,383人	女性	5,300人	合計	11,683人
一人に対して複数所見あり	男		女		合計	
所見 疑いを含む	人数	比率	人数	比率	人数	比率
胆のう結石	392	6.1%	283	5.3%	675	5.8%
胆のうポリープ	976	15.3%	483	9.1%	1,459	9.2%
胆のう腺筋腫症	346	5.4%	181	3.4%	527	4.5%
腎のう胞	1,434	22.5%	517	9.8%	1,951	16.7%
腎結石・石灰化	776	12.2%	360	6.8%	1,136	9.7%
腎盂・尿管拡張	51	0.8%	45	0.8%	96	0.8%
腎血管筋脂肪腫	52	0.8%	111	2.1%	163	1.4%
肝のう胞	791	12.4%	712	13.4%	1,503	12.9%
肝血管腫	441	6.9%	522	9.8%	963	8.2%
肝腫瘍	6	0.1%	9	0.2%	15	0.1%
脂肪肝	2,874	45.0%	1,028	19.4%	3,902	33.4%
膵管拡張	73	1.1%	12	0.2%	85	0.7%
膵のう胞	88	1.4%	113	2.1%	201	1.7%
膵腫瘍	3	0.05%	2	0.04%	5	0.04%
脾腫	52	0.8%	21	0.4%	73	0.6%
正常	1,177	18.4%	1,979	37.3%	3,156	27.0%
合計	9,532		6,378		15,910	

精密検査（追跡調査）の結果

正常	膵がん	腎がん	胆のうポリープ	胆のう腺筋腫	尿路結石	その他	合計
17	0	0	4	9	21	114	165

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
11,683	273	165	0	0.0%

便潜血

正常94.8％、D判定4.9％、精検受診者数は344例あり、がん発見数は9例だった。

便潜血では5％の人が陽性であり、陽性者のうち1.2％の9例の大腸がんが発見された。

所見	男		女		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
陽性	436	5.2%	276	4.5%	712	4.9%
陰性	7,887	94.8%	5,864	95.5%	13,751	95.1%
合計	8,323		6,140		14,463	

精密検査（追跡調査）の結果

正常	大腸がん	腺腫	大腸ポリープ	大腸憩室	その他	合計
47	9	3	176	21	88	344

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
14,463	703	344	9	0.1%

前立腺（PSA）

正常96.2％、D判定3.6％、精検受診者数は51例あり、がん発見数は3例だった。

PSAでは3.8％の人が高値であり、うち2.0％の3例にがんが発見された。

	男	
所見	人数	比率
陽性	150	3.8%
陰性	3,817	96.2%
合計	3,967	

精密検査（追跡調査）の結果

正常	前立腺がん	前立腺がん疑い	前立腺肥大	その他	合計
4	3	16	16	12	51

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
3,967	142	39	3	0.1%

マンモグラフィ

正常84.3%、D判定9.9%、精検受診者数は272例あり、がん発見数は 6 例だった。

一人に対して複数所見あり	女	
所見 疑いを含む	人数	比率
腫瘤	79	2.5%
石灰化	184	5.8%
局所的非対称性陰影	248	7.8%
構築の乱れ	9	0.3%
非対称性乳腺組織	6	0.2%
腫大腋窩リンパ節	1	0.03%
乳房内リンパ節	8	0.3%
皮膚所見	1	0.03%
加療変形	5	0.2%
正常	2,670	84.3%
合計	3,211	

精密検査（追跡調査）の結果

正常	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	繊維腺腫	のう胞	その他	合計
101	6	2	50	34	67	12	272

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
3,167	315	272	6	0.19%

乳腺エコー

正常67.1%、D判定3.9%、精検受診者数は59例あり、がん発見数は 5 例だった。

乳腺エコーではのう胞18%、繊維腺腫疑いが11%に認められたが、3.9%のD判定のうち6.3%の 5 例にがんが発見された。

	女	
所見	人数	比率
乳腺症疑い	72	3.6%
のう胞	365	18.1%
繊維腺腫疑い	233	11.5%
乳管拡張	44	2.2%
低エコー域	5	0.2%
乳腺腫瘤疑い	43	2.1%
乳管内乳頭腫疑い	28	1.4%
正常	1,354	67.1%
合計	2,144	

精密検査（追跡調査）の結果

正常	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	繊維腺腫	のう胞	その他	合計
2	5	0	15	17	9	11	59

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
2,019	79	59	5	0.2%

婦人科診察

婦人科診察では所見なしが67％であり、びらんが17％に認められた。7.1％のD判定のうち2例にがんが発見された。

所見 疑いを含む	人数	%
全受診者	3,521	
所見なし	2,366	67.2%
膣部びらん	621	17.6%
ポリープ	167	4.7%
子宮筋腫	201	5.7%
不正出血	94	2.7%
月経異常	55	1.6%
過多月経	40	1.1%
子宮下垂	93	2.6%
外陰炎	56	1.6%
膣炎	22	0.6%
付属器腫瘍	16	0.5%
付属器炎	0	0.0%
その他	50	1.4%

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
3,521	249	27	2	0.1%

子宮頸部細胞診

正常98.6％、D判定2.8％、精検受診者数は46例あり、がん発見数は2例だった。

子宮頸部細胞診ではNILM（正常）が98％とほとんどであった。子宮頸がんの高リスクであるHPV（ヒトパピローマウイルス）は5％の人に陽性であった。精密検査の結果、子宮頸部異形成は軽度10例、中等度4例、高度1例であり、がんは子宮頸がん1例、体がん1例が発見された。

ベセスダ判定	人数	比率％
NILM（正常）	3,473	98.64%
ASC-US	28	0.80%
ASC-H	3	0.09%
LSIL	13	0.37%
HSIL	2	0.06%
SCC	1	0.03%
AGC	1	0.03%
AIS	0	0.00%
AdenoCa	0	0.00%
Other Malig	0	0.00%
総受診者数	3,521	100%

HPV高リスク型検査受診者

	陽性	陰性	合計
人数	18	344	362
比率	5%	95%	100%

精密検査（追跡調査）の結果

CIN 1（軽度）	CIN 2（中等度）	CIN 3（高度）	子宮頸がん	子宮体がん	合計
10	4	1	1	1	17

*CIN 子宮頸部異形成

がん発見成績

総受診者(A)	D判定者数(B)	精検受診者	がん発見数(C)	がん発見率(C/A)
3,521	100	46	2	0.05%

4. 精密検査・フォローアップ

精密検査

各検査でD判定（要受診）になった人は、マンモグラフィ受診者で約10%、胸部CTで9%、婦人科診察で7%程度が該当した。紹介状の返事が得られた受診者（C）の割合は、画像による診断は半数以上精密検査を受けられたが、婦人科への受診率は低かった。

フォローアップ

	23年度の総受診者 (A)	D判定数 (B)	要精検率 (B/A)	精密検査受診者数 (C)	精検受診率 (C/B)
婦人科診察	3,521	249	7.1%	27	10.8%
子宮頸部細胞診	3,521	100	2.8%	46	46.0%
胸部Xp	16,874	219	1.3%	131	59.8%
胃部Xp	8,320	164	2.0%	94	57.3%
腹部超音波	11,683	273	2.3%	165	60.4%
便潜血	14,463	703	4.9%	344	48.9%
マンモグラフィ	2,337	241	10.3%	213	88.4%
乳腺エコー	2,019	79	3.9%	59	74.7%
マンモ+乳腺エコー	830	97	11.7%	77	79.4%
上部消化管内視鏡	3,388	32	0.9%	18	56.3%
胸部CT	747	65	8.7%	37	56.9%
PSA	3,967	142	3.6%	39	27.5%

5. 特定健診・特定保健指導

（１）特定健診

昨年度は8,510人の健診をおこなった。

特定健診	男	女	合計
特定健診受診者数	4,539	3,951	8,510

（２）特定保健指導

昨年度は指導対象者3,824人中7.4%の人が動機付け支援、7.4%の人が積極的支援の対象者となった。

そのうちで動機付け支援は43%の123人に、積極的支援は35%の99人に支援を行い、ほぼ全ての人の支援を完了した。

特定保健指導		男	女	合計
保健指導対象者数	A	1,641	2,183	3,824
情報提供 該当者数		1,254	1,999	3,253
動機付け支援 該当者数	B	159	125	284
該当者割合	B/A	9.7%	5.7%	7.4%
実施者数	C	65	58	123
実施者割合	C/B	40.9%	46.4%	43.3%
支援完了者数	D	65	58	123
完了者割合	D/C	100.0%	100.0%	100.0%
積極的支援 該当者数	E	228	54	282
該当者割合	E/A	13.9%	2.5%	7.4%
実施者数	F	82	17	99
実施者割合	F/E	36.0%	31.5%	35.1%
支援完了者数	G	77	14	91
完了者割合	G/F	93.9%	82.4%	91.9%

6. 参加学会・研究会

第52回日本総合健診医学会 倉敷

検査の進捗状況の可視化による
受診者満足度の向上についての取り組み

一般財団法人 みどり健康管理センター

○坂入 美江 為本 香苗 赤松 美希
康永 真紀 乾 泰輝 松村 俊子
古林 孝保

〔目 的〕

システム更新を機に、個々の受診者の検査の待ち時間と検査の進捗状況を可視化するという健診の運営方法が受診者満足度の向上につながっているかを検討した。受診者満足度についてはアンケート調査を実施した。

〔対象と方法〕

2023年4月より新システムが稼働した。個々の受診者の受付時間、定められた各検査までの待ち時間、全受診者のリアルタイムの進捗状況を表示した。それらの情報を各検査部門で共有することで、可能な範囲で検査順番を変更し、受診者間における待ち時間の不均衡の解消に努めた。2023年6～7月における人間ドック、健康診断受診者にアンケート用紙を配布し、利用回数、次検査案内、待ち時間、接遇、自由記載による意見を求めた。

〔結 果〕

受診者満足度のアンケート結果は回答者1,174名、回答率73%、男女比6：4、40～50歳台59.1%、2回以上の継続受診者は84.2%であった。次検査への誘導はとても良い54.3%、良い39.0%、待ち時間はとても早い37.6%、早い42.9%、待ち時間の雰囲気・スタッフの対応はとても良い52.0%、良い39.4%であった。性別や年齢別でも結果に大きな差はなかった。自由記載ではお褒めの言葉が多かったが、一部の検査や診察の待ち時間で不満があった。

〔考 察〕

検査の進捗状況を共有することにより、検査をスムーズに進めれていると思われる。受診者満足度調査では、概ね良好な結果が得られた。今後は待ち時間が発生した事例について検討し、さらに良いシステムを構築し、受診者サービスの向上に努めたい。

第51号令和5年度分参加学会・研修会

令和5年4月から令和6年3月まで

学会発表

第52回日本総合健診医学会全国大会

テーマ 持続可能なやさしい総合健診を探求する

日時 2024年1月26日～1月27日

場所 岡山県倉敷市 倉敷アイビースクエア

演題 「検査の進捗状況の可視化による受診者満足度の向上についての取り組み」

発表者 ○坂入美江・為本香苗・赤松美希・康永真紀・乾泰輝・松村俊子・古林孝保

※○は発表者

医師・職員参加

第64回日本人間ドック学会学術大会

テーマ 人生100年時代を支える予防医療の進歩

日時 2023年9月1日～2日

場所 群馬県高崎市 Gメッセ群馬

第71回大阪産業医学研究会

日時 2023年7月3日

場所 大阪府大阪市 ホテルグランヴィア大阪

第72回大阪産業医学研究会

日時 2024年1月22日

場所 大阪府大阪市 ホテルグランヴィア大阪

第6回消化器内視鏡北摂地域連携フォーラム

日時 2023年7月8日

場所 大阪府大阪市 梅田スカイビル

メ モ
